



八千代市イメージキャラクター「やっち」

平成30年版

八千代市消防本部

は し が き

この平成30年版消防年報は、八千代市の消防現勢及び火災・救急活動等の消防事情を収録し、消防行政の合理的な運営と消防力の充実に資するものであります。

平成31年4月

八千代市消防本部

目 次

I 総 務

1	八千代市の位置及び地勢	1
2	八千代市消防の沿革	2
3	消防概要	
(1)	消防組織	7
(2)	消防本部・署の配置及び施設一覧表	8
(3)	消防本部事務分掌	9
(4)	消防署事務分掌	1 1
(5)	市勢及び消防の推移	1 2
4	予算額及び決算額	
(1)	市一般会計と消防費の比較	1 3
(2)	消防予算と人口・世帯数との比較	1 3
5	消防職員	
(1)	所属別職員数	1 4
(2)	年齢別職員数	1 5
(3)	消防在職年数別職員数	1 6
(4)	歴代消防長	1 7
6	消防職員教育訓練実施状況	
(1)	消防大学校教育	1 8
(2)	千葉県消防学校教育	1 8
(3)	救急救命東京・九州研修所	1 8
7	音楽隊の状況	
(1)	結成	1 9
(2)	階級別隊員数	1 9
(3)	活動状況	1 9

(4) 市民音楽隊員数	19
-------------------	----

II 予 防

1 火災予防

(1) 月別建築同意件数	20
(2) 建築同意件数の推移	20
(3) 建築物用途別同意件数	21
(4) 用途別中高層防火対象物数	22
(5) 消防用設備等設置届受理件数	23
(6) 危険物施設数	24
(7) 地区別危険物施設数	25
(8) 地区別危険物施設数概略図	26
(9) 危険物施設の許認可申請等受理件数	27
(10) 危険物施設数の推移	28
(11) 火災予防条例等届受理件数	29
(12) 消防訓練届受理件数	30
(13) 所属別立入検査実施数	31

2 火災統計

(1) 火災状況	32
(2) 管理区域・地区別火災件数	33
(3) 月別火災件数	34
(4) 原因別火災件数	35
(5) 曜日別火災件数	36
(6) 火災件数前年比較	36
(7) 原因別火災の推移	37
(8) 時刻別火災の推移	38
(9) 全国・千葉県・八千代市の火災件数等の比較	39

III 警 防

1 消防施設・装備

(1) 消防本部・消防署車両配置状況	40
--------------------------	----

(2) 消防用車両一覧表	4 1
(3) 新設防火水槽	4 2
(4) 新設消火栓	4 2
(5) 消防水利の保有数	4 3
① 防火水槽	4 3
② 年別防火水槽保有数	4 3
③ 消火栓	4 4
④ 年別消火栓保有数	4 4

IV 指 令

1 消防通信

(1) 通信系統図	4 5
(2) 出場指令件数	4 6
(3) 119番受理状況	4 6
(4) 気象状況	4 7
関連グラフ (気温)	4 8
(湿度)	4 8
(降雨量)	4 9
(風速)	4 9

V 救急・救助

1 救急統計

(1) 年別活動状況表	5 0
(2) 年別救急活動状況	5 1
① 事故種別出動件数	5 1
② 事故種別搬送人員	5 1
③ 男女別搬送人員	5 2
(3) 事故種別時間別出動件数	5 2
(4) 事故種別時間別搬送人員	5 3
(5) 事故種別年齢区分別搬送人員	5 4
(6) 事故種別傷病程度別搬送人員	5 4
(7) 年齢区分別傷病程度別搬送人員	5 5

(8) 事故種別不搬送理由別件数	5 5
(9) 現場到着所要時間別出動件数	5 6
(10) 収容所要時間別搬送人員	5 6
(11) 医療機関等へ収容するまでの間に救急隊員が行った 応急処置数	5 7
(12) 不搬送件数のうち救急隊員が行った現場応急処置数	5 8
(13) 曜日別月別出動件数	5 9
(14) 曜日別月別搬送人員	6 0
(15) 発生場所別搬送人員	6 1
(16) 応急手当普及啓発活動実施状況	6 2

2 救助統計

(1) 救助出動件数及び活動状況	6 3
------------------------	-----

VI 消防団

1 消防団概要

(1) 消防団配置図	6 4
(2) 消防団組織	6 5
(3) 区域別消防団員数及び施設設備配置表	6 6
(4) 年齢別消防団員数	6 7
(5) 在職年数別消防団員数	6 8
(6) 消防団員の報酬等	6 8
(7) 分団別消防自動車等の配置状況	6 9
(8) 分団別水利状況	7 0
(9) 分団別施設状況	7 1
(10) 消防団活動状況	7 2
① 出動回数	7 2
② 出動人員	7 2
(11) 歴代消防団長	7 3

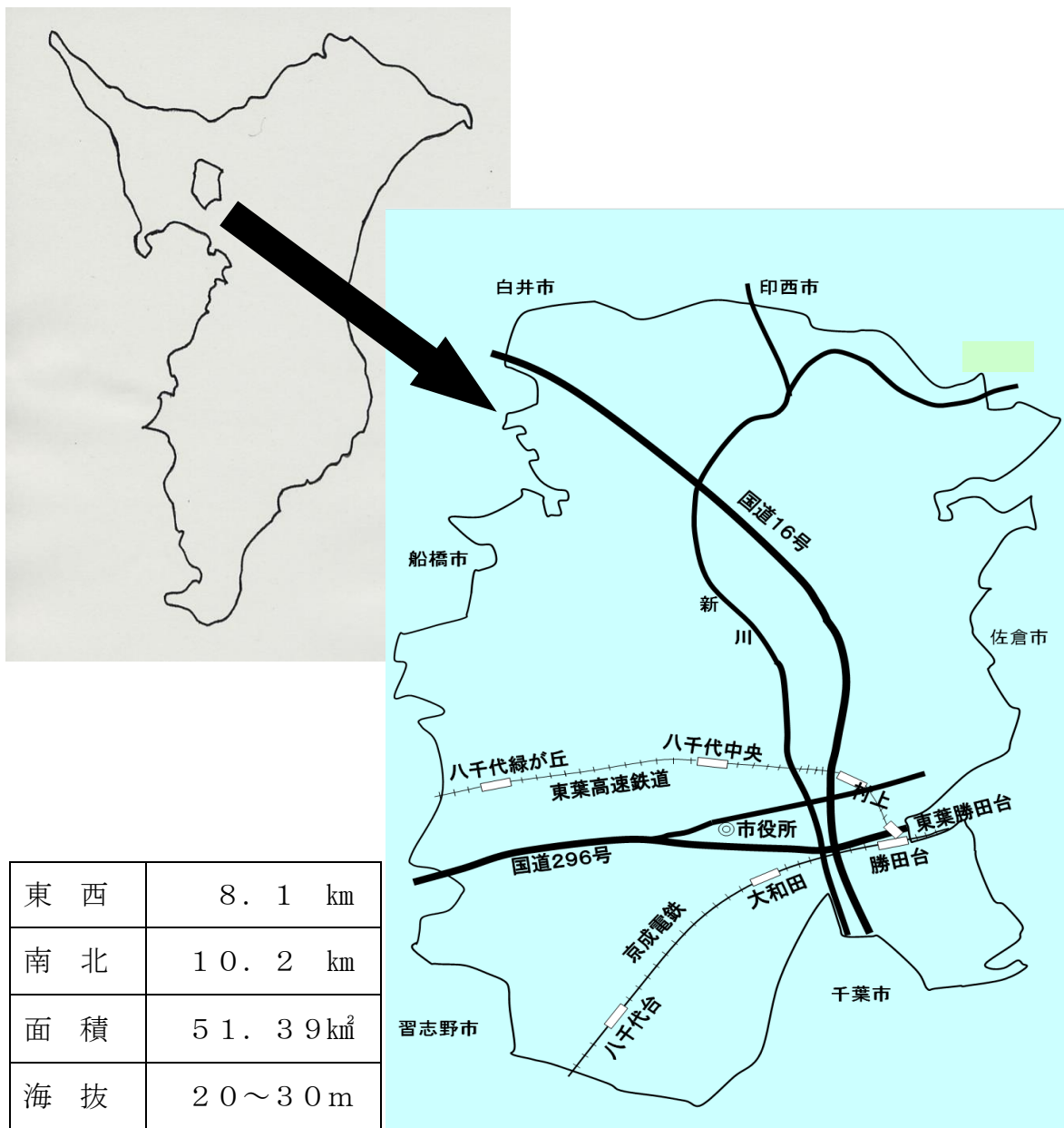
I 総務

1 八千代市の位置及び地勢

八千代市は、千葉県の北西部に位置し、南は千葉市、西は習志野市・船橋市、東は佐倉市、北は白井市・印西市と接し、首都東京から30キロ圏に位置している。

地形は、標高20メートル程度の丘陵にあつて南北に長い矩形状をしており、市中央部を南北に印旛沼の疎水路である新川が流れている。

交通網としては、南部から北西部にかけて東京環状国道16号が走り、市の中心部を東西に東葉高速鉄道（八千代緑が丘、八千代中央、村上、東葉勝田台の4駅）が、また、南部には京成電鉄本線（八千代台、大和田、勝田台の3駅）が走っている。



2 八千代市消防の沿革

- 昭和 29. 1. 15 大和田町と睦村が合併し、八千代町となり、消防団は21分団制となる。
9. 1 阿蘇村を合併し、消防団は36分団制となる。
30. 3 消防団に千葉県知事より功労表彰旗が授与される。
35. 3 消防団に千葉県消防協会長より優良表彰旗が授与される。
3. 16 習志野市と消防相互応援協定を締結する。
37. 10. 1 消防団を13分団2部制に改組する。
39. 2. 21 消防団に日本消防協会長より竿頭綬が授与される。
11. 1 消防団常備部（定数15人）を設置、水槽付消防ポンプ自動車1台、部員8人をもって発足する。
40. 4. 1 消防団常備部の定数17人となる。
5. 20 救急業務に関する規則が公布され、即日施行となり、救急自動車1台を配置して救急業務を開始する。
41. 1. 1 消防団常備部の定数32人となる。
7. 1 八千代台分遣所が竣工し、消防ポンプ自動車1台・部員6人をもって業務を開始する。
42. 1. 1 市制の施行により八千代市となる。
3. 10 消防団に千葉県知事より優秀表彰旗が授与される。
3. 31 八千代市消防本部及び消防署の設置等に関する条例が施行される。
4. 1 政令指定により、消防本部、消防署、（定数41人）を設置し、消防ポンプ自動車2台、救急車1台、職員41人をもって発足する。
9. 18 超短波無線電話機（基地局1、移動局3、携帯局1）を整備し、無線業務を開始する。
43. 10. 19 消防署に気象観測器を設置、観測業務を開始する。
44. 4. 1 消防職員の定数55人となる。
45. 2. 20 消防団に日本消防協会長より表彰旗が授与される。
3. 10 消防音楽隊が隊員18人をもって発足する。
4. 1 消防職員の定数72人となる。
9. 10 船橋市と消防相互応援協定を締結する。
11. 4 消防署に化学車を配置する。
12. 14 勝田台分遣所（鉄筋コンクリート造平屋建延べ173㎡）が竣工し、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、職員14人をもって業務を開始する。
46. 4. 1 消防職員の定数102人となる。
47. 6. 4 消防本部・署新庁舎（鉄筋コンクリート造3階建延べ1,156㎡）が竣工する。

47. 10. 27 八千代台分遣所新庁舎（鉄筋コンクリート造延べ140㎡）が竣工し開所する。
12. 13 消防署にはしご付消防ポンプ自動車（30m級）を配置する。
48. 4. 1 消防職員の定数120人となる。
49. 3. 1 消防本部・消防団に消防庁長官より竿頭綬が授与される。
4. 1 4週5休制（週休）を実施する。
50. 3. 20 消防署に屈折はしご付ポンプ自動車（16m級）を配置する。
4. 1 消防職員の定数140人となる。
7. 1 八千代市消防署組織規程を改正し、即日施行する。
7. 1 米本分署（鉄筋コンクリート造2階建延べ403.5㎡）が竣工し、屈折はしご付消防ポンプ自動車1台、普通ポンプ自動車1台、救急車1台、司令車1台、職員27人をもって業務を開始する。
52. 6. 18 消防署に救助艇（ヤマハ）を配置する。
12. 23 消防本部に総合気象観測装置を設置する。
53. 4. 1 消防職員の定数150人となる。
5. 4 消防本部に気象観測装置（温度・湿度計）を設置する。
54. 3. 31 八千代台東南分署（鉄筋コンクリート造2階建延べ399㎡）が竣工する。
54. 4. 1 消防職員の定数170人となる。
4. 1 八千代台東南分署（水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、職員20人）での業務を開始する。
5. 31 消防本部に気象観測装置（気圧計）を設置する。
12. 22 消防署に救助工作車を配置する。
55. 4. 1 消防職員の定数176人となる。
12. 13 大澤正春氏より防災像の寄贈を受け、除幕式を挙げる。
56. 1. 23 通信指令装置（B級）を新設する。
3. 23 消防本部・署庁舎の増改築工事（増改築面積鉄筋コンクリート造延べ652.5㎡）が竣工する。
57. 4. 1 消防職員の定数180人となる。
4. 1 八千代市消防団規則の一部を改正し、消防団に本部、方面隊を設置する。
11. 29 八千代台東南分署にはしご付消防ポンプ自動車（30m級）を配置する。
58. 4. 1 消防職員の定数186人となる。
59. 2. 2 千葉県防災行政無線設備を設置する。
60. 3. 25 睦分遣所（鉄筋コンクリート造平屋建延べ487.09㎡）が竣工する。
4. 1 消防職員の定数193人となる。

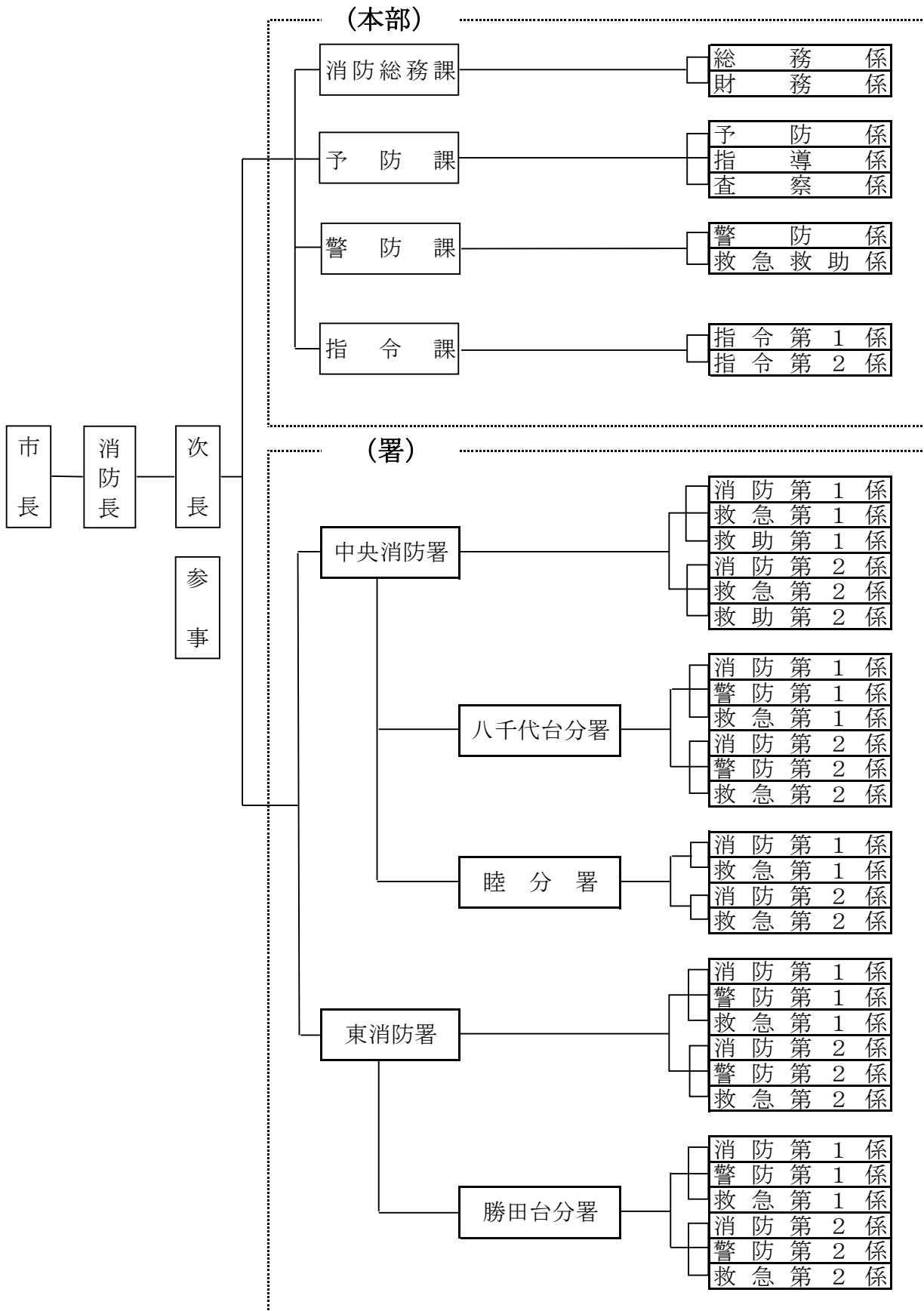
60. 4. 1 睦分遣所（水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、職員18人）での業務を開始する。
60. 11. 1 勝田台分遣所庁舎建て替え工事に伴い、仮庁舎に移転する。
62. 1. 20 消防本部に消防業務用地図等検索装置を設置する。
3. 1 勝田台市民文化プラザに勝田台分遣所新庁舎（鉄筋コンクリート造延べ480㎡）が竣工し、移転する。
12. 24 消防署にはしご付消防自動車（38m級）を配置する。
63. 3. 24 訓練塔（主塔、鉄筋コンクリート造6階建延べ199.16㎡）・（副塔、鉄筋コンクリート造2階建延べ60.58㎡）が竣工する。
- 平成 元. 4. 9 4週6休制（週休）実施となる。
8. 12 土曜閉庁実施となる。
2. 3. 22 米本分署にはしご付消防自動車（30m級）を配置する。
4. 1 消防職員の定数198人となる。
5. 30 消防本部多目的庁舎（1階車庫・2階トレーニング室・延面積399㎡）が竣工する。
3. 1. 16 消防署に小型動力ポンプ付水槽車（10㎡）を配置する。
3. 19 勝田台分遣所にはしご付消防自動車（38m級）を配置する。
4. 1 勝田台分遣所を勝田台分署に改める。
4. 3. 24 救助工作車を更新し、消防署に配置する。
4. 1 消防職員の定数200人となる。
5. 25 救急蘇生訓練用生体シュミレーターを整備し、消防署に配置する。
8. 6 予防課に防災訓練車を配置する。
5. 2. 28 完全週休2日制実施となる。
9. 10 岩井治郎氏から、救急車（2B型）1台・司令車1台の寄贈を受け、消防署・警防課に配置する。
6. 3. 28 消防署に高規格救急自動車を配置する。
3. 31 消防緊急通信指令施設Ⅱ型を更新、同日運用を開始する。
4. 1 消防職員の定数210人となる。
7. 1 救急救命士高規格救急自動車乗務を開始する。
9. 27 消防訓練場用地（面積3,987.7㎡・大和田新田183番1）を取得する。
7. 4. 3 消防緊急通信指令施設（自動出動指定装置）の運用を開始する。
6. 30 患者監視装置等の救急資機材を整備し、運用を開始する。
7. 17 太陽商運株式会社と「災害時における消火水の搬送に関する協定」を締結する。
11. 6 耐震性防火水槽（100㎡）を八千代台西に設置する。
8. 3. 6 消防本部・消防団に消防庁長官より表彰旗が授与される。
10. 1 八千代市消防本部消防職員委員会を設置する。
10. 1 睦分遣所を睦分署に改める。

- 9. 1. 7 赤バイ隊を創設し、消防署に配置する。
- 4. 2 山之内製薬から高規格救急自動車1台の寄贈を受け、米本分署に配置し、運用を開始する。
- 10. 1. 3 1 耐震性防火水槽（100 m³）を八千代台北に設置する。
- 4. 1 組織改革により中央消防署と東消防署の2署体制とする。（消防署を中央消防署・米本分署を東消防署・八千代台東南分署を八千代台分署に改める。）
- 4. 6 八千代台分署と勝田台分署において、夜間・休日に住民票と戸籍の附票の取り次ぎ業務を開始する。
- 5. 1 岩井武雄氏から赤バイ2台の寄贈を受け、勝田台分署に配置し、運用を開始する。
- 11. 2. 2 4 八千代市医師会と救急業務の円滑な推進を図るため、救急業務連絡協議会を設置する。
- 4. 1 消防団第10分団2部を消防団第10分団1部と統合して消防団第10分団とし、消防団を13分団1部制に改組する。
- 4. 1 消防団本部の定員を4人から17人に改める。
- 10. 1 組織改正により、総務課を消防総務課に改める。
- 10. 1 女性消防団員（7人）を採用し、団本部に配属する。
- 12. 2. 2 0 耐震性防火水槽（100 m³）を村上に設置する。
- 10. 1 女性消防団員（6人）を採用し、団本部に配属する。
- 13. 2. 5 水槽付消防ポンプ自動車を八千代台分署に配置する。
- 8. 2 7 消防本部庁舎耐震診断を実施する。
- 8. 3 1 耐震性防火水槽（100 m³）を勝田台に設置する。
- 14. 1. 1 5 消防用無線基地局アンテナ用鉄塔を設置する。
- 2. 1 3 災害対応特殊消防ポンプ自動車を八千代台分署に配置する。
- 2. 1 4 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を睦分署に配置する。
- 15. 1. 3 0 高規格救急自動車を八千代台分署に配置する。
- 11. 2 8 耐震性防火水槽（100 m³）を八千代台東に設置する。
- 16. 1. 2 1 高規格救急自動車を勝田台分署に配置する。
- 17. 2. 2 3 高規格救急自動車を更新し、中央消防署に配置する。
- 3. 1 6 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を勝田台分署に配置する。
- 3. 2 5 水槽付消防ポンプ自動車を更新し、中央消防署に配置する。
- 18. 4. 1 組織改正により、指令課を新設する。
- 19. 2. 2 2 高規格救急自動車を更新し、東消防署に配置する。
- 2. 2 8 救助工作車を更新し、中央消防署に配置する。
- 3. 1 5 高機能消防指令センター（Ⅱ型）が竣工する。
- 3. 2 6 消防本部・中央消防署新庁舎での業務を開始する。
- 3. 2 6 高機能消防指令センターの運用を開始する。

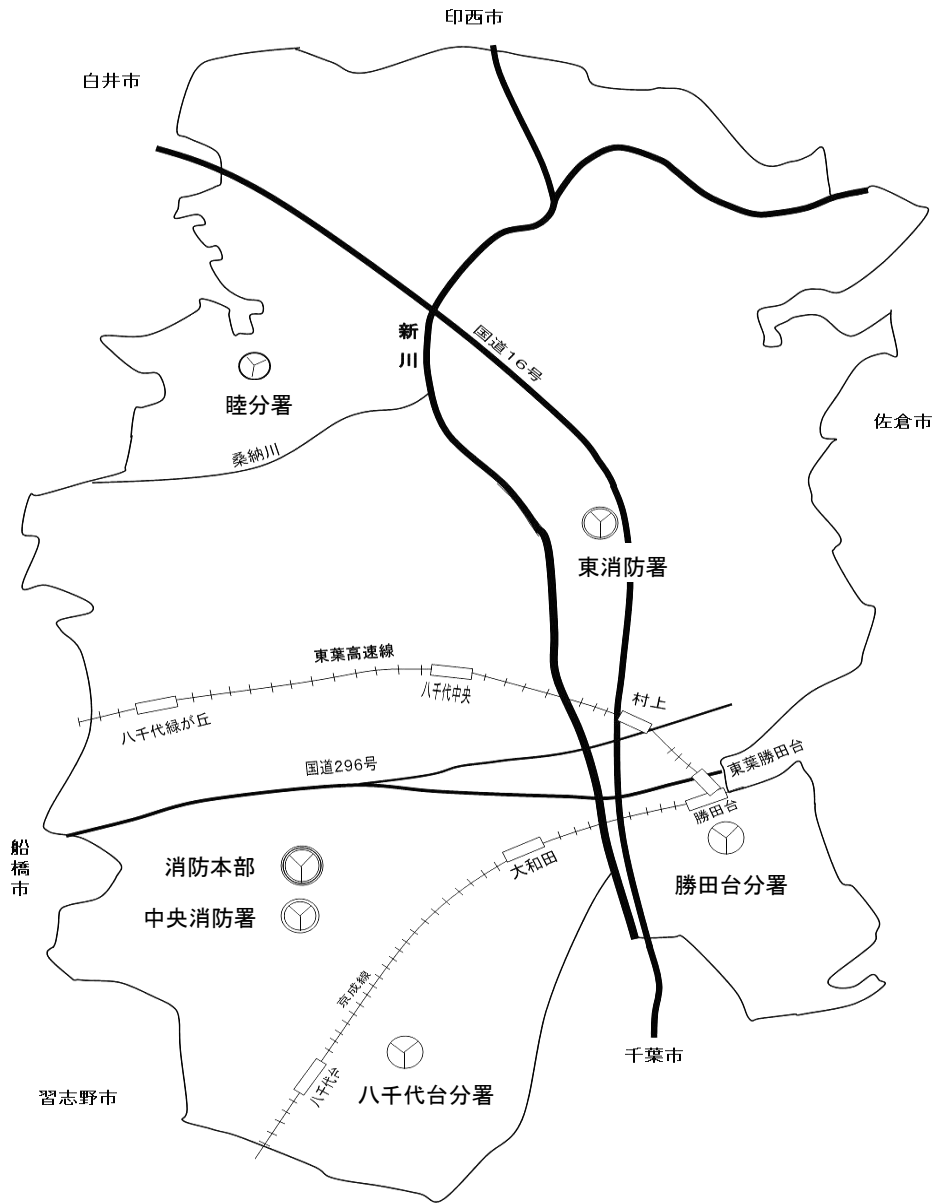
19. 4. 16 消防本部・中央消防署（鉄骨造「免震構造」3階建延べ4,299.32㎡）が竣工する。
8. 31 耐震性防火水槽（100㎡）を勝田台南小学校内に設置する。
11. 20 高規格救急自動車を更新し、睦分署に配置する。
11. 30 市民訓練施設（鉄骨造2階建延べ252㎡・鉄骨造平屋建延べ150㎡）及び救助訓練施設（主塔、鉄骨造3階建延べ150㎡・副塔、鉄骨造平屋建延べ20㎡）が竣工する。
12. 5 はしご付消防自動車（38m級）を更新し、中央消防署に配置する。
21. 10. 20 普通消防ポンプ自動車を更新し、勝田台分署に配置する。
10. 21 指揮車を更新し、中央消防署に配置する。
11. 20 小型動力ポンプ付水槽車（10㎡）を更新し、中央消防署に配置する。
12. 22 はしご付消防自動車（30m級）を更新し、東消防署に配置する。
22. 4. 1 聴覚障害者用メール119番受信システムの運用を開始する。
23. 2. 28 仲村定雄氏より消防旗の寄贈を受ける。
3. 11 東日本大震災が発生する。（八千代市消防本部で震度5弱を観測）
3. 18 東日本大震災による被災地（岩手県陸前高田市）に緊急消防援助隊として派遣する。
10. 13 耐震性防火水槽（100㎡）を南高津小学校内に設置する。
24. 3. 1 勝田台分署に高規格救急自動車を配置する。
4. 1 消防団第12分団2部を消防団第12分団1部と統合して消防団第12分団とし、消防団を13分団制に改組する。
4. 1 団本部女性部の定数を13人から26人に改める。
4. 1 児童・生徒の防火・救命体験促進事業を開始する。
10. 24 高規格救急自動車を更新し、八千代台分署に配置する。
25. 4. 1 千葉県消防救急無線広域化・共同化に係る全体計画に基づき消防救急デジタル無線を整備し、運用を開始する。
26. 2. 7 高規格救急自動車を更新し、中央消防署に配置する。
27. 2. 25 化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を更新し、東消防署に配置する。
3. 11 消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新し、中央消防署・東消防署に配置する。
9. 1 消防団協力事業所表示制度を施行する。
12. 7 八千代市消防音楽隊市民参加実施要領を施行する。
市民音楽隊員の登録を開始する。
29. 2. 13 高規格救急自動車を中央消防署に配置する。
4. 1 消防職員の定数230人となる。
30. 1. 25 高規格救急自動車を更新し、東消防署に配置する。
3. 22 災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I型・1300L水槽付）を更新し、八千代台分署に配置する。
3. 30 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（水I-B型）を更新し、睦分署に配置する。

3 消防概要

(1) 消防組織



(2) 消防本部・署の配置及び施設一覧表



種別 施設	所在地	敷地面積	構造	建築面積	延面積	竣工年月日
消防本部	大和田新田	m ²	鉄骨造	m ²	m ²	平成19年
中央消防署	186番地	8,270.66	3階建	1,513.07	4,299.32	4月16日
東消防署	米本 1,932番地の1	m ² 1,039.00	鉄筋コンクリート 2階建	m ² 256.00	m ² 403.50	昭和50年 7月1日
八千代台分署	八千代台東 1丁目17番1号		鉄筋コンクリート 合同庁舎内		m ² 399.00	昭和54年 3月31日
睦分署	島田台 766番地15	m ² 1,249.00	鉄筋コンクリート 平屋建	m ² 494.56	m ² 487.09	昭和60年 3月25日
勝田台分署	勝田台 2丁目5番1号		鉄筋コンクリート 合同庁舎内		m ² 480.00	昭和62年 3月1日

(3) 消防本部事務分掌

課 名	事 務 分 掌
消 防 総 務 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 本部内の連絡調整に関する事。 2 消防業務の総合的企画及び調査に関する事。 3 消防の組織に関する事。 4 職員の人事に関する事。 5 職員の研修及び福利厚生に関する事。 6 文書及び法規に関する事。 7 消防職員委員会に関する事。 8 消防団に関する事。 9 消防音楽隊に関する事。 10 公務災害補償に関する事。 11 公印の管理に関する事。 12 予算，決算その他財務に関する事。 13 国，県補助金に関する事。 14 財産の維持管理に関する事。 15 被服等の貸与に関する事。 16 庶務に関する事。 17 他の課に属さない事項
予 防 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 火災の予防対策に関する事。 2 防火管理に関する事。 3 火災の調査に関する事。 4 火災予防上の諸届出の受理，調査及び指導に関する事。 5 消防団体の指導及び育成に関する事。 6 建築物の確認等の同意に関する事。 7 消防用設備等の設置，指導，検査及び点検報告に関する事。 8 防火対象物の使用開始に関する事。 9 危険物の規制に関する事。 10 液化石油ガスの意見書に関する事。 11 圧縮アセチレンガス，液化石油ガス等の届出に関する事。 12 消防対象物の予防査察に関する事。 13 消防用設備及び防火管理業務等の違反処理に関する事。 14 防火基準適合防火対象物の表示に関する事。 15 庶務に関する事。

課 名	事 務 分 掌
警 防 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防戦術の研究及び消防部隊の運用計画に関する事。 2 開発行為等に係る消防施設の指導に関する事。 3 火災警報等に関する事。 4 消防相互応援協定及び緊急消防援助隊に関する事。 5 救急救助業務の企画運営に関する事。 6 車両等の総合管理及び整備に関する事。 7 消防団の施設及び設備に関する事。 8 消防水利施設の整備に関する事。 9 水防事務組合に関する事。 10 道路工事届等に関する事。 11 救急医療機関等との連絡調整に関する事。 12 救急搬送証明に関する事。 13 市民の救急相談及び救急指導に関する事。 14 救急救助統計に関する事。 15 救急救助業務の高度化推進に関する事。 16 庶務に関する事。
指 令 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防通信の調査研究及び計画に関する事。 2 火災、救急及びその他の災害通報の受付及び指令に関する事。 3 消防通信施設の管理及び運用に関する事。 4 救急関係医療機関の情報の収集及び市民に対する情報の提供に関する事。 5 災害情報の収集及び伝達に関する事。 6 気象観測及び気象情報の収集に関する事。 7 消防通信統計に関する事。 8 庶務に関する事。

(4) 消防署事務分掌

課名	事務分掌
消防署	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒，防ぎよ及び鎮圧に関する事。 2 救急救助業務に関する事。 3 消防施設の運用及び保守管理に関する事。 4 水利施設の調査及び保全に関する事。 5 消防対象物の予防査察に関する事。 6 職員の教養訓練に関する事。 7 火災予防上の諸届出の受理及び指導に関する事。 8 火災の原因及び損害の調査に関する事。 9 公印の管理に関する事。 10 署所の連絡調整に関する事。 11 火災予防対策に関する事。 12 庶務に関する事。
分署	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒，防ぎよ及び鎮圧に関する事。 2 救急業務に関する事。 3 消防施設の運用及び保守管理に関する事。 4 水利施設の調査及び保全に関する事。 5 消防対象物の予防査察に関する事。 6 職員の教養訓練に関する事。 7 火災予防上の諸届出の受理及び指導に関する事。 8 火災の原因及び損害の調査に関する事。 9 火災予防対策に関する事。 10 庶務に関する事。

(5) 市勢及び消防の推移

(各年4月1日現在)

区分 年別	面積 (km ²)	人 口			世帯数	人口密度	本部・ 署所の 数	職 員		団 員	
		男	女	計				定数	実数	定数	実数
24	51.27	95,902	96,982	192,884	81,145	3,762	6	210	210	309	290
25	51.27	95,764	97,187	192,951	81,930	3,763	6	210	210	309	299
26	51.27	95,855	97,477	193,332	82,634	3,770	6	210	209	309	302
27	51.39	96,226	98,212	194,438	83,666	3,783	6	210	209	309	296
28	51.39	96,815	98,556	195,371	84,858	3,801	6	210	210	309	296
29	51.39	97,194	98,950	196,144	85,884	3,816	6	230	210	309	300
30	51.39	97,859	99,864	197,723	87,466	3,847	6	230	215	309	291
31	51.39	98,399	100,566	198,965	88,950	3,901	6	230	224	309	286

※人口密度は、1km²当りの数値で少数点以下切り捨て

※面積は、平成27年3月6日公表（今までよりも精度の高い計測方法で計測した結果、公表値が変更となったが、実際の面積は拡大していない。）

※人口・世帯数は各年3月31日現在

4 予算額及び決算額

(1) 市一般会計と消防費の比較

(単位：円)

年度別 \ 区分		市一般会計 A	消防費 B	比較 B/A %
平成27年度	予算	56,070,824,000	1,884,247,000	3.4
	決算	55,928,889,800	1,872,816,569	3.3
平成28年度	予算	56,081,000,000	1,980,634,000	3.5
	決算	55,310,459,155	1,976,984,290	3.5
平成29年度	予算	52,879,615,000	2,106,358,000	4.0
	決算	53,332,817,000	2,152,659,000	4.0
平成30年度	予算	55,538,000,000	2,734,570,000	4.9
	決算			
平成31年度	予算	56,850,000,000	2,904,357,000	5.1

(2) 消防予算と人口・世帯数との比較

(各年4月1日現在)

年度別 \ 区分	消防予算 (千円)	人口 (人)	世帯数	1人当たり (円)	1世帯当たり (円)
平成27年度	1,884,247	194,438	83,666	9,691	22,521
平成28年度	1,980,634	195,371	84,858	10,138	23,341
平成29年度	2,106,358	196,144	85,884	10,739	24,526
平成30年度	2,734,570	197,723	87,466	13,830	31,264
平成31年度	2,904,357	198,965	88,950	14,597	32,651

(注) 予算とは、当初予算を表す。

5 消防職員

(1) 所属別職員数

(平成31年4月1日現在)

階 級		消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	計
区 分		正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士	
定 数										230
実 数 合 計		1	4	10	63	43	35		68	224
うち女性				1		2	1		3	7
消 防 本 部	消 防 長	1								1
	次 長		1							1
	参 事		1							1
	消 防 総 務 課			2	4	3	1			10
	うち女性						1			1
	予 防 課			2	5	7	1			15
	うち女性			1		1				2
	警 防 課				5	1	1			7
	うち女性									
	指 令 課				4	5	4		1	14
うち女性										
計		1	2	4	18	16	7		1	49
うち女性				1		1	1			3
消 防 署	中央消防署 小計		1	5	27	21	21		43	118
	中央消防署		1	5	13	11	11		24	65
	うち女性					1			3	4
	八千代台分署				8	4	4		11	27
	睦 分 署				6	6	6		8	26
	東消防署 小計		1	1	18	6	7		24	57
	東消防署		1	1	10	3	2		13	30
	勝田台分署				8	3	5		11	27
計			2	6	45	27	28		67	175
うち女性						1			3	4

(2) 年齢別職員数

(平成31年4月1日現在)

階級 年齢	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士	計
18歳								3	3
19歳								2	2
20歳								8	8
21歳								7	7
22歳								14	14
23歳								6	6
24歳								13	13
25歳						6		8	14
26歳						5		4	9
27歳						7		3	10
28歳						6			6
29歳						4			4
30歳					3	3			6
31歳					2	1			3
32歳					2	3			5
33歳					7				7
34歳					6				6
35歳					4				4
36歳					2				2
37歳					2				2
38歳					2				2
39歳				2	2				4
40歳				3	2				5
41歳				5	1				6
42歳				1	1				2
43歳				3					3
44歳				3					3
45歳				4	1				5
46歳				3					3
47歳				4					4
48歳				4					4
49歳				5					5
50歳				3					3
51歳				2					2
52歳			1	2					3
53歳					1				1
54歳			1	3	1				5
55歳			3	5					8
56歳				4					4
57歳		1	2		1				4
58歳		2	1	4	2				9
59歳	1	1	2	3	1				8
合 計	1	4	10	63	43	35		68	224

※平均年齢は36.1歳

(3) 消防在職年数別職員数

(平成31年4月1日現在)

階級 年数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士	計
1年未満								18	18
1年								15	15
2年								12	12
3年						4		9	13
4年						2		8	10
5年						7		3	10
6年						8		3	11
7年						5			5
8年					3	2			5
9年					1	2			3
10年					3	5			8
11年					4				4
12年					8				8
13年					1				1
14年					9				9
15年					1				1
16年				2	1				3
17年				2	4				6
18年				1					1
19年				3					3
20年									
21年				1					1
22年				2					2
23年				7					7
24年				3	1				4
25年				6					6
26年				2					2
27年				2	1				3
28年				1					1
29年				4	1				5
30年									
31年				2					2
32年				2					2
33年				2					2
34年			1	4	1				6
35年									
36年			2	2					4
37年			2	5					7
38年			1	4					5
39年	1	2	1		1				5
40年		2	2	4	3				11
41年			1	2					3
合 計	1	4	10	63	43	35		68	224

(4) 歴代消防長

(平成31年4月1日現在)

	階級	氏名	在職期間
初代	司令長	兼子通純	昭和42年4月1日～昭和42年5月30日
2	司令長	清宮親之	昭和42年5月31日～昭和44年3月31日
3	消防監	花沢義雄	昭和44年4月21日～昭和49年9月30日
4	消防監	齊藤治夫	昭和49年10月1日～昭和58年3月31日
5	消防監	根岸輝夫	昭和58年4月1日～昭和62年3月31日
6	消防監	大塚昇吉	昭和62年4月1日～平成3年3月31日
7	消防正監	知脇正道	平成3年4月1日～平成7年1月20日
8	消防正監	仲村定雄	平成7年1月21日～平成10年3月31日
9	消防正監	村越利光	平成10年4月1日～平成12年3月31日
10	消防正監	樫山孝吉	平成12年4月1日～平成14年3月31日
11	消防正監	伊藤宏一	平成14年4月1日～平成16年3月31日
12	消防正監	神垣升	平成16年4月1日～平成18年3月31日
13	消防正監	武藤博明	平成18年4月1日～平成21年3月31日
14	消防正監	豊田和明	平成21年4月1日～平成22年3月31日
15	消防正監	常岡正良	平成22年4月1日～平成23年3月31日
16	消防正監	染谷正博	平成23年4月1日～平成25年3月31日
17	消防正監	岩井精一	平成25年4月1日～平成27年3月31日
18	消防正監	椎名次夫	平成27年4月1日～平成29年3月31日
19	消防正監	小澤義昭	平成29年4月1日～現在

6 消防職員教育訓練実施状況

(1) 消防大学校教育

(平成30年度)

区 分	期 間	研 修 人 員
幹 部 科	46日	1
予 防 科	52日	1
実 務 講 習	7日	1
合 計		3

(2) 千葉県消防学校教育

(平成30年度)

区 分	期 間	研 修 人 員
初 任 科	96日	18
救 急 科	41日	3
救 助 科	23日	2
予 防 査 察 科	11日	2
火 災 調 査 科	13日	1
訓 練 指 導 科	10日	2
中 級 幹 部 科	8日	1
特 殊 災 害 科	10日	2
救急救命士処置拡大に伴う追加講習	5日	2
はしご自動車等講習	4日	2
合 計		35

(3) 救急救命東京・九州研修所

(平成30年度)

区 分	期 間	研 修 人 員
指 導 救 命 士 養 成 研 修	30日	1
救急救命士新規養成課程研修	126日	1
合 計		2

7 音楽隊の状況

(1) 結 成

結成年月日 昭 和 45 年 3 月 10 日

発足時の隊員数 18人

(2) 階級別隊員数

(平成31年4月1日現在)

階 級	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	計
人 数	1	6	7	4	3	21

(3) 活 動 状 況

(平成30年度)

区 分	消防行事 出 演	市 行 事 出 演	そ の 他 出 演	計
回 数	7	1	2	10

(4) 市民音楽隊員数

(平成31年4月1日現在)

性 別	男 性	女 性	計
人 数	15	16	31

※平成27年12月7日市民音楽隊員の登録を開始する。

II 予防

1 火災予防

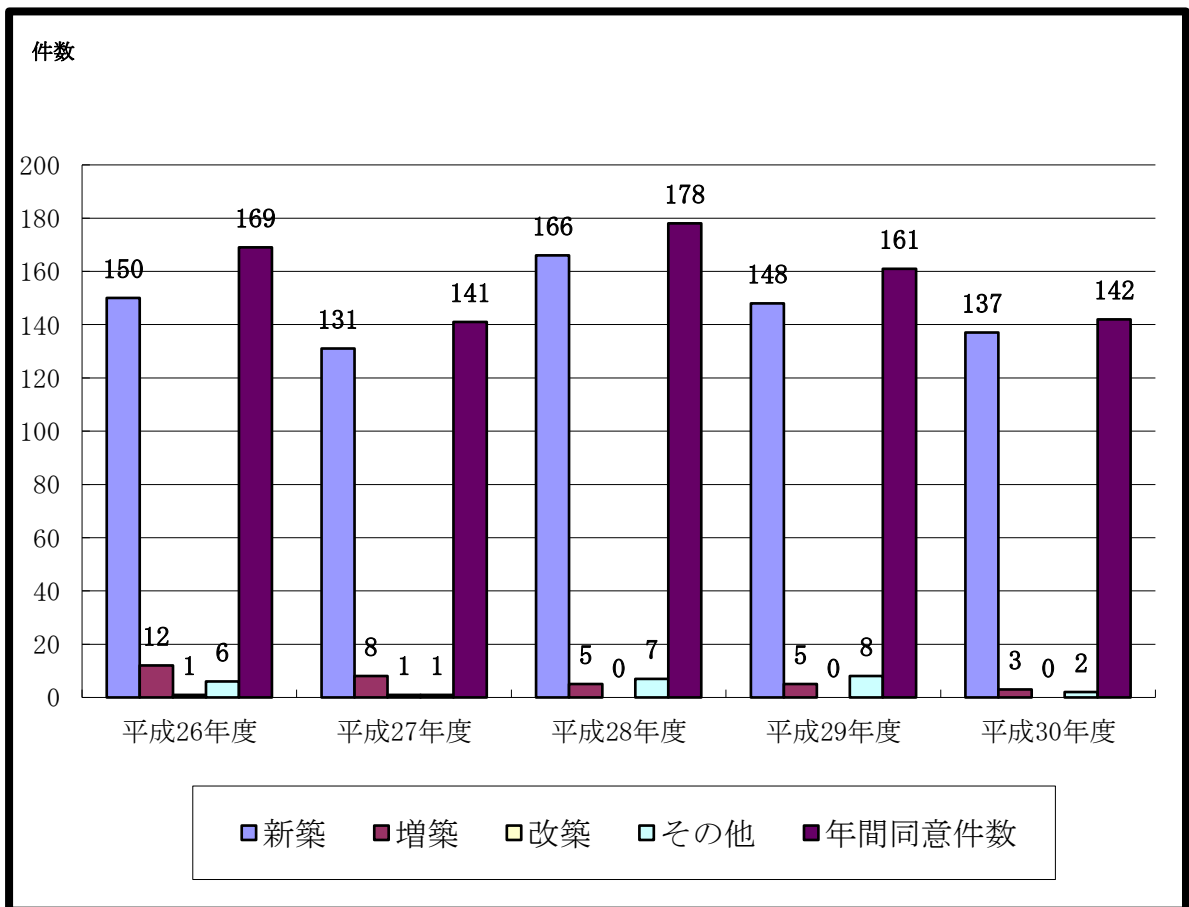
(1) 月別建築同意件数

(平成30年度)

区分 \ 月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新 築	9	4	12	18	16	11	14	13	7	12	8	13	137
増 築						2			1				3
改 築													0
そ の 他				1			1						2
合 計	9	4	12	19	16	13	15	13	8	12	8	13	142

(2) 建築同意件数の推移

(年度統計)



(3) 建築物用途別同意件数

(平成30年度)

区 分		月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
(1)	イ	劇場・観覧場													
	ロ	公会堂・集会場	1									1			2
(2)	イ	キャバレー・ナイトクラブ													
	ロ	遊技場・ダンスホール													
	ハ	風俗営業等													
(3)	イ	待合・料理店													
	ロ	飲食店												1	1
(4)		百貨店・マーケット等			1		1		1	1	1		1		6
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所													
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	3	1	1	6		1	6	3	3	2	2	2	30
イ	(1)	病院						1							1
	(2)	診療所													
	(3)	病院[6イ(1)を除く] 診療所[6イ(2)を除く]・助産院													
	(4)	診療所[入院施設なし] 助産院[入所施設なし]													
ロ	(1)	養護老人ホーム等				1		2					1		4
	(2)	救護施設													
	(3)	乳児院													
	(4)	障害児入所施設													
	(5)	障害者支援施設等											1		1
ハ	(1)	老人デイサービスセンター等			1							2			3
	(2)	更生施設													
	(3)	助産施設・保育所等					1	2	1	1					5
	(4)	児童発達支援センター等													
	(5)	身体障害者福祉センター等													
ニ	幼稚園・特別支援学校														
(7)		学校(小・中・高等)大学・各種学校				1									1
(8)		図書館・美術館													
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場													
	ロ	イ以外の公衆浴場													
(10)		車両の停車場・航空機の発着場													
(11)		神社・教会													
(12)	イ	工場・作業場					2			1	1				4
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ													
(13)	イ	自動車車庫・駐車場													
	ロ	飛行機の格納庫													
(14)		倉庫		2					1						3
(15)		前各項に該当しない事業場				1		1			1		2	2	7
(16)	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物						1			1				2
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物										1		1	2
(16の2)		地下街													
(16の3)		準地下街													
(17)		文化財													
(18)		延長50m以上のアーケード													
		許 可 申 請				1		1		1			1	1	5
		工 作 物													
		昇 降 機													
		その他(150㎡未満の専用住宅以外の建物)	4	1	4	4	3	3	3	4		3		3	32
		専 用 住 宅	1		5	5	9	1	3	2	1	3		3	33
		合 計	9	4	12	19	16	13	15	13	8	12	8	13	142

(4) 用途別中高層防火対象物数

平成31年4月1日現在

区 分		階 別																				計
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	20	24	26	31		
(1)	イ	劇場・観覧場	1																		1	
	ロ	公会堂・集会場	5	1																	6	
(2)	イ	キャバレー・ナイトクラブ																				
	ロ	遊技場・ダンスホール																				
	ハ	風俗営業等																				
	ニ	カラオケボックス等																				
(3)	イ	待合・料理店																				
	ロ	飲食店	8	1	5																14	
(4)		百貨店・マーケット等	4	2	2																8	
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1		1	1	1	1			1										6	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	412	87	365	30	18	27	5	12	32	5	4	18	4			1	1	1	1,022	
(6)	イ	(1) 病院	1		1																2	
		(2) 診療所	1																		1	
		(3) <small>病院〔6(1)を除く〕 診療所〔6(2)を除く〕・助産院</small>	5	5	2	1																13
		(4) <small>診療所〔入院施設なし〕 助産院〔入所施設なし〕</small>	9	2		1																12
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	20	6	2		1															29
		(2) 救護施設																				
		(3) 乳児院																				
		(4) 障害児入所施設																				
		(5) 障害者支援施設等																				
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	2			1																3
		(2) 更生施設																				
		(3) 助産施設・保育所等																				
		(4) 児童発達支援センター等																				
		(5) 身体障害者福祉センター等	2																			2
ニ	幼稚園・特別支援学校	1																			1	
(7)		学校・各種学校	31	28	7	1															67	
(8)		図書館・美術館	1																		1	
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場																				
	ロ	イ以外の公衆浴場																				
(10)		車両の停車場・航空機の発着場																				
(11)		神社・教会等	3																		3	
(12)	イ	工場・作業場	36	9	4																49	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ																				
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	4	1																	5	
	ロ	飛行機の格納庫																				
(14)		倉庫	13	2	2																17	
(15)		前各項に該当しない事業場	41	16	11	5															73	
(16)	イ	特定防火対象物が存する 複合用途防火対象物	125	59	44	18	11	9	6	5	5	1	1	2	1	1				1	289	
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	73	20	15	7	1		1	2	1		1								121	
(17)		文化財																				
合 計			799	239	461	65	32	37	12	19	38	7	6	20	4	1	1	1	1	1	1,745	

(5) 消防用設備等設置届受理件数

(平成30年度)

種 類	区 分	件 数
消 火 設 備	消 火 器	92
	屋 内 消 火 栓 設 備	9
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	30
	水 噴 霧 消 火 設 備	
	泡 消 火 設 備	1
	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	
	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備	
	粉 末 消 火 設 備	2
	屋 外 消 火 栓 設 備	6
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備	
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	168
	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	1
	漏 電 火 災 警 報 器	
	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	36
	非 常 警 報 設 備	35
避 難 設 備	避 難 器 具	28
	誘 導 灯 等	126
消 防 用 水	消 防 用 水	
消 火 活 動 上 必 要 な 施 設	排 煙 設 備	1
	連 結 散 水 設 備	
	連 結 送 水 管	1
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備	1
	無 線 通 信 補 助 設 備	
合 計		537

(6) 危険物施設数(320施設)

(平成31年4月1日現在)

施設種別	施設名称	施設数
製造所	製造所	6 件
	屋内貯蔵所	46 件
貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	55 件
	屋内タンク貯蔵所	0 件
	地下タンク貯蔵所	59 件
	簡易タンク貯蔵所	1 件
	移動タンク貯蔵所	42 件
	屋外貯蔵所	27 件
	取扱所	給油取扱所
販売取扱所		1 件
一般取扱所		47 件

(東京法令出版(株)危険物施設基準の早わかりより転載)

(7) 地区別危険物施設数

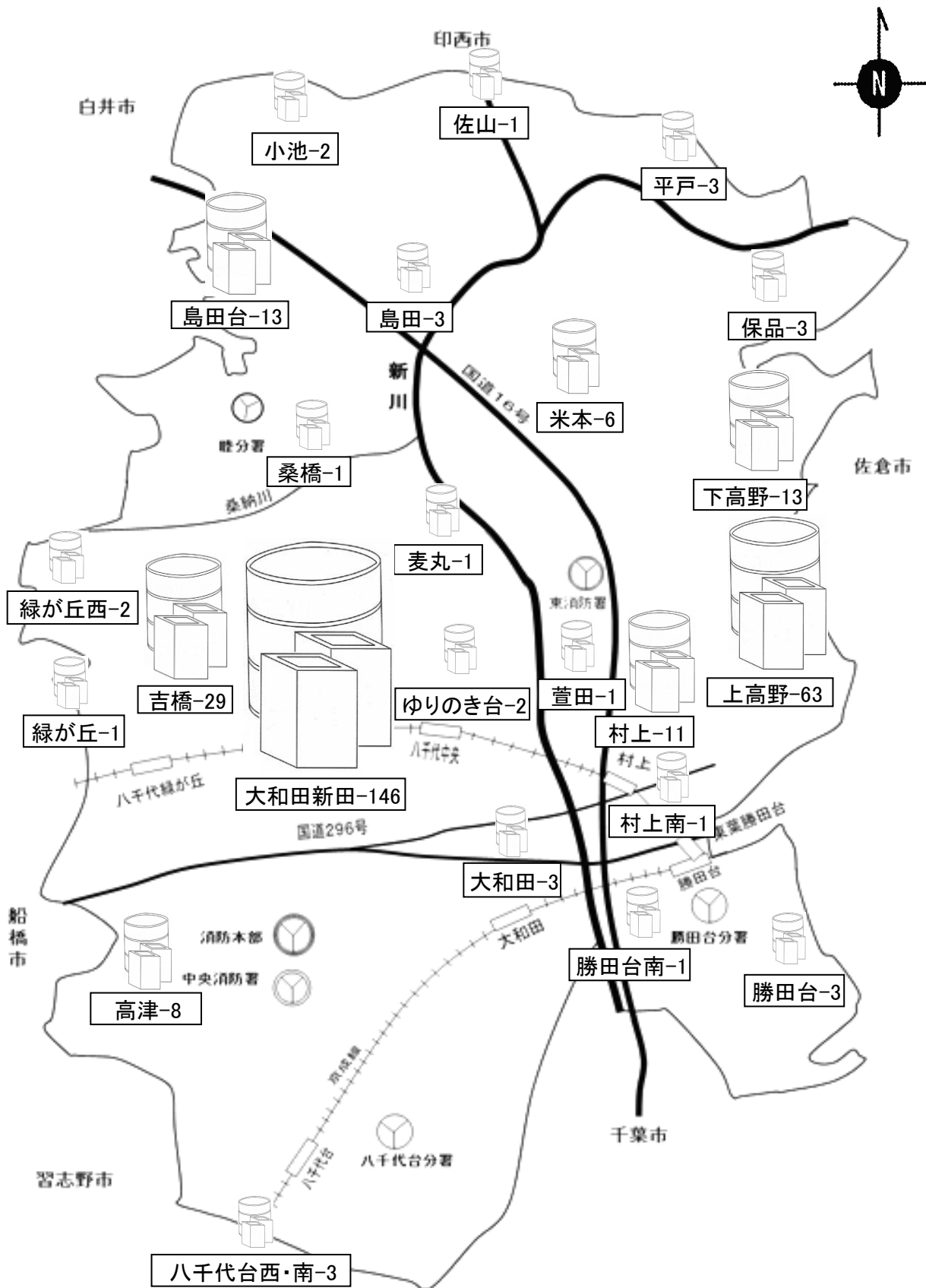
(平成31年4月1日現在)

地区別	施設区分	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所			計	
			屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売		一 般
大和田						1						2	3
萱田町													
萱田								1					1
高津				1				2	1	1		3	8
高津東													
緑が丘										1			1
緑が丘西			1							1			2
大和田新田	5	19	38		22		14	20	12	※(8)		16	146
ゆりのき台					1				1				2
米本					1				4	※(1)		1	6
村上		1			4				3	※(1)		3	11
村上南									1	※(1)			1
神野													
保品		1			2								3
堀の内													
上高野		13	12		13		1	5	3	※(3)		16	63
下高野							13						13
八千代台東													
八千代台南					1						1		2
八千代台西									1				1
八千代台北													
麦丸									1	※(1)			1
吉橋		8	4		3	1	9	1				3	29
尾崎													
桑納													
島田					2							1	3
島田台	1	3			4		1		2	※(2)		2	13
小池					2								2
大学町													
真木野													
神久保													
桑橋									1	※(1)			1
佐山									1				1
平戸								1	2				3
勝田台					3								3
勝田台南									1				1
勝田台北													
勝田													
下市場													
合計	6	46	55		59	1	42	27	36	※(18)	1	47	320

※ 給油取扱所欄の()内数字は自家用給油取扱所施設数

(8) 地区別危険物施設数概略図 (320施設)

(平成31年4月1日現在)



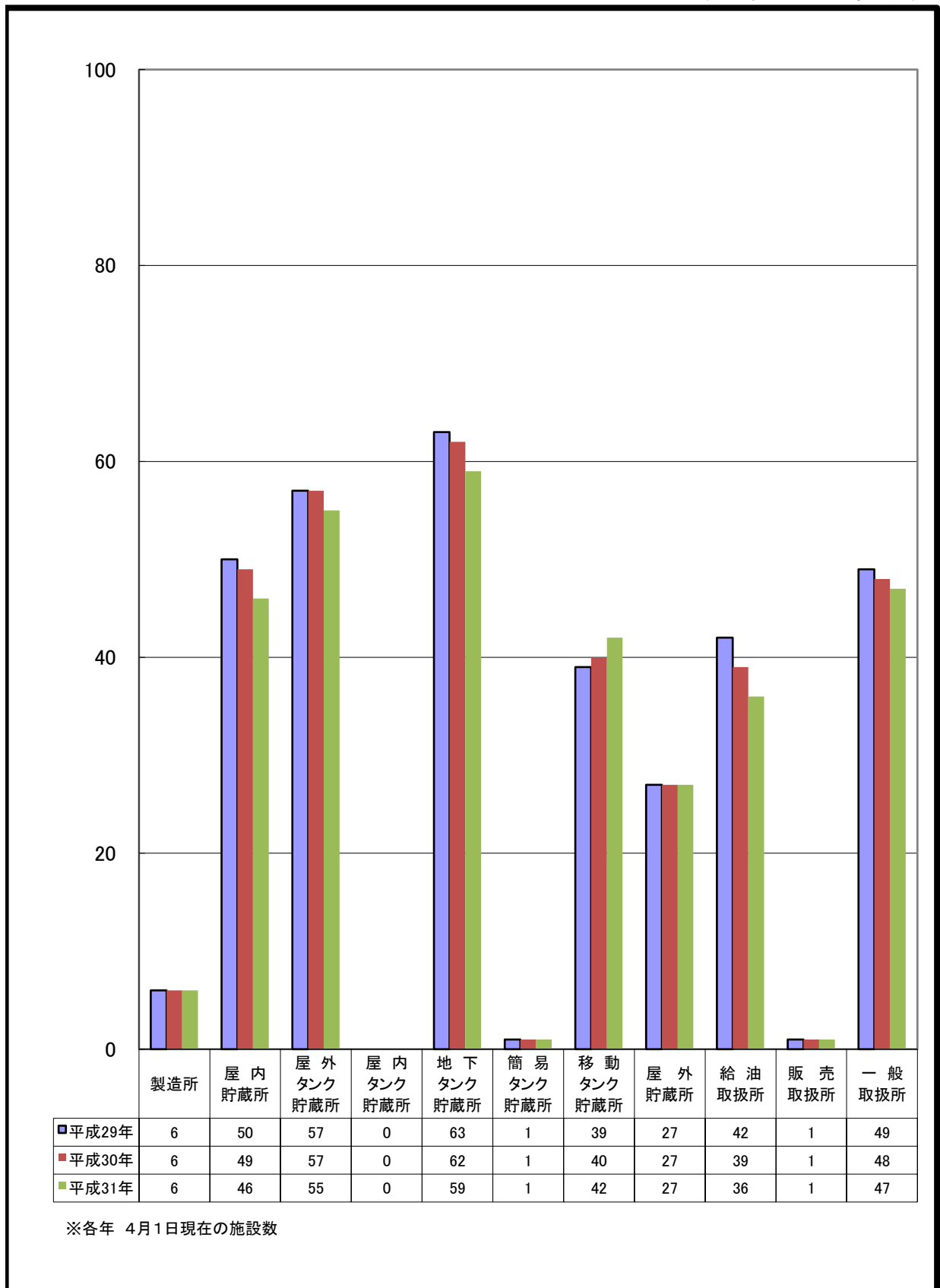
(9) 危険物施設の許認可申請等受理件数

(平成30年度)

施設区分 申請等区分		計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所		
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売	一 般
許 可	設 置	10	1	4			1		3	1			
	変 更	27	5	1	3		3		2		3		10
完 成	設 置	3							3				
	変 更	23	4	1	3		3		1		3		8
廃 止		14		3	2		3		2		3	*(2)	1
譲 渡		3							1		2		
品名数量変更届		7		1					1		1	1	3
仮使用承認申請		21	4		2		3				3		9
予 防 規 程 認 可		2									1		1
休止（再使用）届		2			1						1	*(1)	
許可申請取下申請													
許可取消申請													
再 交 付 申 請													
保安監督者選解任届		14		4	3		1				2		4
資 料 提 出 届		186	14	16	46		7	2	14	20	26	*(2)	41
小 計 (A)		312	28	30	60		21	2	27	21	45	※(5)	77
仮貯蔵仮取扱申請		3	※給油取扱所欄の（ ）内数字は自家用給油取扱所分										
水 圧 検 査													
水 張 検 査		12											
小 計 (B)		15											
合計 (A) + (B)		327											

(10) 危険物施設数の推移

(各年4月1日現在)



(11) 火災予防条例等届受理件数

(平成30年度)

区分	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
禁止行為解除承認申請			1		1	1	2		1		1	1		8
防火対象物使用開始(変更)届出		21	10	7	14	13	9	37	18	14	17	16	21	197
炉等設置届出			1	1	1		3	4	1	1	1	3		16
燃料電池発電設備等設置届出		1	5	4	4	4	1	2	1	4	2	5	2	35
ネオン管灯設備設置届出														
水素ガスを充填する気球の設置届出														
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生するおそれのある行為の届出		4	3	2	5	2	2	7	10	13	12	6	2	68
煙火打ち上げ・仕掛け届出		1		1	1									3
催物開催届出							1							1
水道断水・減水届出														
道路工事届出		14	8	10	17	16	14	18	20	20	11	15	10	173
露店等の開設届出		5	3	11	15	9	10	9	9	10	2	1	2	86
指定洞道等届出														
少量危険物・指定可燃物貯蔵・取扱い届出			2		3	1		1		1				8
少量危険物・指定可燃物貯蔵・取扱い廃止届出			5	1	4	1		4	1	4		1		21
少量危険物等タンク検査申請														
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始(廃止)届出		2	2	1	8		1	3	2	3			3	25
防火管理者選任(解任)届出		38	27	31	39	26	28	30	25	19	24	29	34	350
消防計画作成(変更)届出		41	37	29	40	23	34	34	25	16	28	25	38	370
統括防火管理者選任(解任)届出			1	2	1	1	1	1	1	1	2			11
全体の消防計画作成(変更)届出		1	2	2		1	2	2	3	1	2			16
罹災証明願		2	2	2							2	7	19	34
合 計		130	109	104	153	98	108	152	117	107	104	109	131	1,422

(12) 消防訓練届受理件数

(平成30年度)

区分		実施項目等	防火 対象物数	届出件数 (件)	訓練等の種別			
					避難訓練 (回)	通報訓練 (回)	消火訓練 (回)	防火映画等 (回)
(1)	イ	劇場・観覧場	6	5	5	5	5	
	ロ	公会堂・集会場	73	29	29	28	28	3
(2)	イ	キャバレー・ナイトクラブ						
	ロ	遊技場・ダンスホール	8	7	7	7	7	
	ハ	風俗営業等						
	ニ	カラオケボックス等	2	5	5	5	4	1
(3)	イ	待合・料理店						
	ロ	飲食店	92	39	39	36	38	
(4)		百貨店・マーケット等	188	101	99	99	97	1
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	20	6	6	6	6	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,786	34	33	31	33	10
(6)	イ	(1) 病院	2	8	6	6	8	3
		(2) 診療所	6					
		(3) 病院[6イ(1)を除く]・診療所[6イ(2)を除く]・助産院	26	28	28	25	23	4
		(4) 診療所[入院施設なし]・助産院[入所施設なし]	59	1	1	1	1	
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	58	87	86	82	82	1
		(2) 救護施設						
		(3) 乳児院						
		(4) 障害児入所施設						
		(5) 障害者施設等	10	34	27	23	20	
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	16	22	21	18	18	2
		(2) 更生施設						
		(3) 助産施設・保育所等	36	53	53	47	48	12
		(4) 児童発達支援センター等	8	6	6	4	4	2
		(5) 身体障害者福祉センター等	29	18	16	15	13	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校	28	24	24	21	21	1
(7)		学校(小・中・高等)大学・各種学校	131	10	10	10	8	3
(8)		図書館・美術館	4	3	3	3	3	
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ	イ以外の公衆浴場	1					
(10)		車両の停車場・航空機の発着場	8					
(11)		神社・教会等	21					
(12)	イ	工場・作業場	377	44	44	40	39	8
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ						
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	140					
	ロ	飛行機の格納庫						
(14)		倉庫	190	6	6	6	6	
(15)		前各項に該当しない事業場	376	19	18	18	17	3
(16)	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	427	151	150	139	140	4
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	183	13	12	10	13	1
(17)		文化財	1					
合 計			4,312	753	734	685	682	60

(13) 所属別立入検査実施数

(平成30年度)

区分		実施所属等	対象 施設数 (※)	実施数	所属別					
					予防課	中央 消防署	東 消防署	八千代台 分署	睦分署	勝田台 分署
(1)	イ	劇場・観覧場	6	1	1					
	ロ	公会堂・集会場	73	3			2			1
(2)	イ	キャバレー・ナイトクラブ								
	ロ	遊技場・ダンスホール	8	1	1					
	ハ	風俗営業等								
	ニ	カラオケボックス等	2							
(3)	イ	待合・料理店								
	ロ	飲食店	92	16	4	2		2	6	2
(4)		百貨店・マーケット等	188	25	5	8	1	3	5	3
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	20	9	9					
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,786	237		45	76	50	24	42
(6)	イ	(1) 病院	2							
		(2) 診療所	6							
		(3) 病院[6f(1)を除く]・診療所[6f(2)を除く]・助産院	26							
		(4) 診療所[入院施設なし]・助産院[入所施設なし]	59	2	1	1				
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	58	17	6	4	3	1		3
		(2) 救護施設								
		(3) 乳児院								
		(4) 障害児入所施設								
		(5) 障害者支援施設等	10							
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	16	4	2			2		
		(2) 更生施設								
		(3) 助産施設・保育所等	36	7		4	1	2		
		(4) 児童発達支援センター等	8							
		(5) 身体障害者福祉センター等	29	4				2	2	
	ニ	幼稚園・特別支援学校	28	6	1	2				3
(7)		学校(小・中・高等)大学・各種学校	131							
(8)		図書館・美術館	4	1			1			
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場								
	ロ	イ以外の公衆浴場	1							
(10)		車両の停車場・航空機の発着場	8							
(11)		神社・教会等	21							
(12)	イ	工場・作業場	377	13	12					1
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ		1	1					
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	140	7	2			2	1	2
	ロ	飛行機の格納庫								
(14)		倉庫	190	7	5					2
(15)		前各項に該当しない事業場	376	11	7		3			1
(16)	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	427	42	41					1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	183	7	5		1	1		
(17)		文化財	1							
小計		[A]	4,312	421	103	66	88	65	38	61
危険物 施設		給油取扱所	36	14	14					
		移動タンク貯蔵所	42	42	42					
		その他の危険物施設	242	84	84					
小計		[B]	320	140	140					
合計		[A+B]	4,632	561	243	66	88	65	38	61

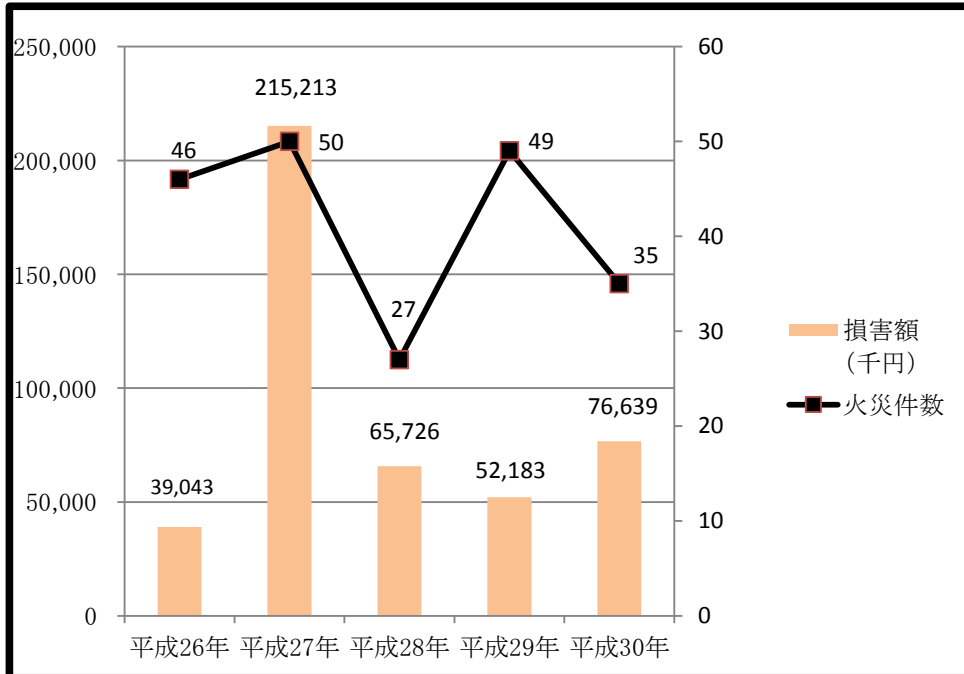
※平成31年4月1日現在

2 火災統計

(1) 火災状況

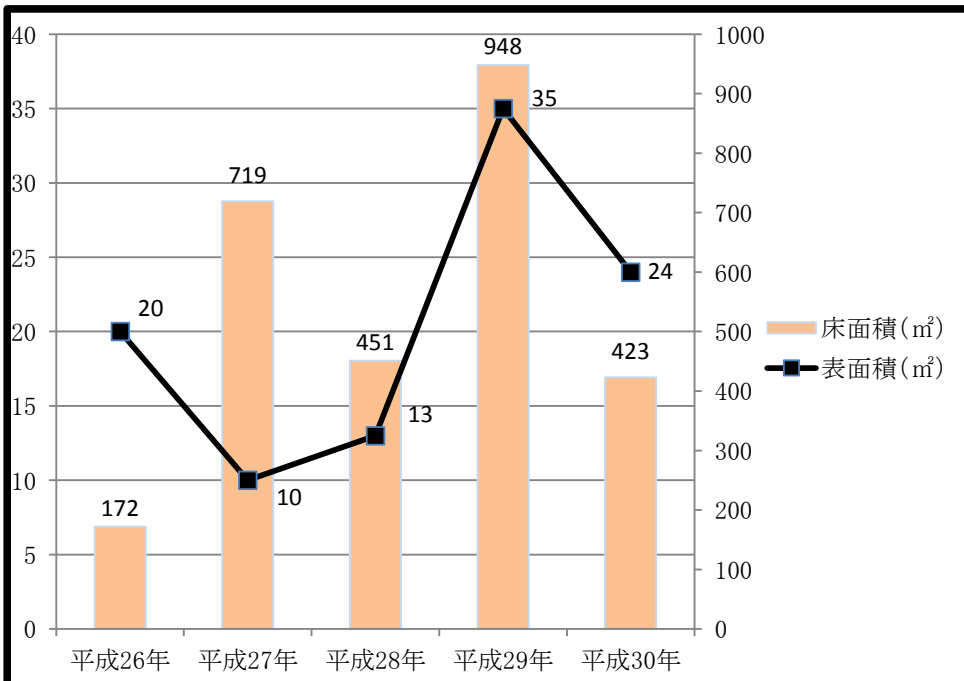
火災件数及び損害額の推移

(暦年統計)



建物焼損面積の推移

(暦年統計)



(2) 管理区域・地区別火災件数

(平成30年)

管理区域・地区別		火災種別				計
		建物	林野	車両	その他	
中央消防署	大和田・大和田新田・村上			1	1	2
	萱田・萱田町・ゆりのき台	1			1	2
	高津・高津団地・高津東	2				2
東消防署	米本・米本団地	3		1	1	5
	村上・村上団地・村上南	1			3	4
	上高野・下高野・保品・神野堀の内	1			3	4
八千代台分署	八千代台東・西・南・北	3			1	4
睦分署	吉橋・桑納・麦丸・島田・緑が丘西 緑が丘・尾崎・大和田新田の一部	1			2	3
	桑橋・島田台・小池・真木野・神久保			2	1	3
	大学町・平戸・佐山					
勝田台分署	下市場・勝田台	3				3
	勝田台南・勝田	1				1
	村上・上高野の一部・村上南 勝田台北	1			1	2
合 計		17		4	14	35

(3) 月別火災件数

(平成30年)

区分 月別	火災件数					焼損面積		建物火災焼損棟数				
	建物	林野	車両	その他	計	建物 (m ²)	林野 (a)	全焼	半焼	部分焼	ぼや	
1	4			2	6	床 表	24		1			3
2	2		1	1	4	床 表	24				1	1
3	2		1	2	5	床 表	28				1	1
4	1		1	3	5	床 表	16				1	
5				2	2	床 表						
6	1			1	2	床 表	190		2			1
7			1		1	床 表						
8	1			1	2	床 表						1
9	1				1	床 表	40				1	
10				2	2	床 表						
11	3				3	床 表	125				2	1
12	2				2	床 表						2
合計	17		4	14	35	床 表	423 24		3		6	10

※建物の焼損面積の欄の床は床面積，表は表面積を表す。

(4) 原因別火災件数

(平成30年)

出火原因	火災種別				計
	建物	林野	車両	その他	
たばこ				4	4
こんろ	4				4
かまど					
風呂かまど					
炉					
焼却炉					
ストーブ	2				2
こたつ					
ボイラー					
煙突・煙道					
排気管					
電気機器					
電気装置					
電灯・電話等の配線	1			3	4
内燃機関					
配線器具	1				1
火あそび					
マッチ・ライター					
たき火			1	4	5
溶接機・切断機					
灯火					
衝突の火花					
取り灰					
火入れ					
放火	2				2
放火の疑い	3			1	4
その他	2		3	1	6
不明	2			1	3
調査中					
合計	17		4	14	35

(5) 曜日別火災件数

(平成30年)

曜 日	火 災 種 別				計
	建 物	林 野	車 両	そ の 他	
日 曜 日	2		1	2	5
月 曜 日	1			3	4
火 曜 日	2		1	1	4
水 曜 日	3		1	1	5
木 曜 日	1			1	2
金 曜 日	3		1	2	6
土 曜 日	5			4	9
不 明					
合 計	17		4	14	35

(6) 火災件数前年比較

(暦年統計)

区 分		平成30年 (A)	平成29年 (B)	増減(A)-(B) (C)	増減率(%) (C)/(B)×100	
火災件数	建 物	17	21	△4	△19	
	林 野					
	車 両	4	2	2	100	
	そ の 他	14	26	△12	△46	
	合 計	35	49	△14	△29	
焼損棟数	全 焼	3	4	△1	△25	
	半 焼		4	△4	△100	
	部 分 焼	6	5	1	20	
	ぼ や	10	13	△3	△23	
	合 計	19	26	△7	△27	
焼損面積	建物 (㎡)	床 面 積	423	948	△525	△55
		表 面 積	24	35	△11	△31
	林 野 (a)					
損害額 (千円)	建 物	72,043	42,641	29,402	69	
	林 野					
	車 両	4,361	6,282	△1,921	△31	
	そ の 他	235	3,260	△3,025	△93	
	爆 発					
	合 計	76,639	52,183	24,456	47	

※損害額及び増減率については、表示単位未満を四捨五入した。

※損害額については個々の物件の損害を計上した。

(7) 原因別火災の推移

(暦年統計)

年 別	26年	27年	28年	29年	30年
合計	46	50	27	49	35
原因別					
たばこ	8	3	7	4	4
こんろ	6	8	1	6	4
かまど					
風呂かまど	1				
炉					
焼却炉					
ストーブ		3	3	2	2
こたつ					
ボイラー					
煙突・煙道					
排気管		2			
電気機器	1	1		3	
電気装置				1	
電灯・電話等の配線		4	1	3	4
内燃機関					
配線器具	1	6	2	3	1
火あそび	3	1	1	1	
マッチ・ライター	1				
たき火	5		1	6	5
溶接機・切断機	1		1		
灯火					
衝突の火花					
取り灰					
火入れ				6	
放火	9	3	1	4	2
放火の疑い	5	7	4	7	4
その他	3	7	1	2	6
不明	2	5	4	1	3

(8) 時刻別火災の推移

(暦年統計)

年 別	26年	27年	28年	29年	30年
合計	46	50	27	49	35
時刻別					
0 時 ~			3		1
1 時 ~	2		1		3
2 時 ~	3	2		3	1
3 時 ~		1	1		2
4 時 ~		3		2	1
5 時 ~	1	2	1	3	
6 時 ~	1	1		1	
7 時 ~	1	2		2	1
8 時 ~	2	1	3	2	3
9 時 ~		2	3	3	2
10 時 ~	4	3	3	1	1
11 時 ~	7	2			2
12 時 ~	2	4	2	4	3
13 時 ~	2	2		8	2
14 時 ~	4	1	2	1	3
15 時 ~	3	4		1	1
16 時 ~	1	5	2	3	1
17 時 ~	4	1	1	5	2
18 時 ~	1	7	2	3	
19 時 ~	4	3		2	2
20 時 ~		1	1	4	1
21 時 ~	1	1	1		
22 時 ~	1	1		1	1
23 時 ~	1	1	1		1
不明	1				1

(9) 全国・千葉県・八千代市の火災件数等の比較

(暦年統計)

区 分		年 別				
		26年	27年	28年	29年	30年
火災件数 (件)	全 国	43,741	39,111	36,831	39,373	37,900
	千 葉 県	2,242	2,005	1,742	1,998	1,924
	八千代市	46	50	27	49	35
建物焼損面積 (㎡)	全 国	床 1,108,150	床 1,035,581	床 1,026,481	床 1,069,932	床 1,035,896
		表 118,684	表 112,797	表 112,652	表 111,304	表 120,754
	千 葉 県	床 46,261	床 38,815	床 32,982	床 44,623	床 38,580
		表 3,254	表 3,805	表 2,997	表 3,014	表 3,099
	八千代市	床 172	床 719	床 451	床 948	床 423
		表 20	表 10	表 13	表 35	表 24
損害額 (千円)	全 国	85,318,835	82,520,479	75,233,396	97,314,667	73,347,268
	千 葉 県	4,165,588	10,839,717	2,907,350	3,730,210	3,405,550
	八千代市	39,043	215,213	65,726	52,183	76,639
一件当り損害額 (千円)	全 国	1,951	2,110	2,043	2,472	1,935
	千 葉 県	1,858	5,406	1,669	1,869	1,770
	八千代市	849	4,304	2,434	1,065	2,190
死者数 (人)	全 国	1,678	1,563	1,452	1,456	1,422
	千 葉 県	71	87	66	79	75
	八千代市	4	3	0	1	1
負傷者数 (人)	全 国	6,560	6,309	5,899	6,052	6,022
	千 葉 県	370	307	274	266	294
	八千代市	4	4	6	4	3
出火率 (人口1万人当り)	全 国	3.4	3.1	2.9	3.1	3.0
	千 葉 県	3.6	3.2	2.8	3.2	3.1
	八千代市	2.4	2.6	1.4	2.5	1.8

※出火率については、表示単位未満を四捨五入した。

※平成30年データは概数値を、それ以外の各年のデータは確定値を使用した。

III 警戒防

1 消防施設・装備

(1) 消防本部・消防署車両配置状況

(平成31年4月1日現在)

	消防本部	消 防 署					合 計
		中 央 消防署	東 消防署	八千代台 分 署	睦 分 署	勝田台 分 署	
普通消防ポンプ自動車		1	1	1		1	4
非常用普通消防ポンプ自動車						1	1
水槽付消防ポンプ自動車		1		1	1	1	4
非常用水槽付消防ポンプ自動車					1		1
化学消防ポンプ自動車			1				1
はしご付消防自動車		1	1				2
小型動力ポンプ付水槽車		1					1
救助工作車		1					1
救急車		2	1	1	1	1	6
非常用救急車		1					1
指揮車	1	1					2
原因調査車		1					1
広報車	1						1
資機材搬送車		1	1				2
隊員輸送車	1						1
事務連絡車	4						4
乗用車	1						1
合 計	8	11	5	3	3	4	34

(2) 消防用車両一覧表

(平成31年4月1日現在)

	車 種	ポンプ 級 別	登録年月	排気量 (L)	備 考
消防本部	事務連絡車		H16. 5	1.29	消防総務課
	乗用車		H29. 5	1.98	消防総務課
	広報車		H16. 7	0.65	予防課
	事務連絡車		H30. 7	0.65	予防課
	事務連絡車		H30. 7	0.65	予防課
	事務連絡車		H29. 6	0.65	警防課
	指揮車		H16. 7	0.65	警防課
	隊員輸送車		H17. 2	4.00	警防課
中央消防署	指揮車		H21. 10	1.99	
	普通消防ポンプ自動車	A-2	H27. 3	4.00	
	水槽付消防ポンプ自動車	A-2	H17. 3	6.40	1,500ℓ
	小型動力ポンプ付水槽車	B-2	H21. 11	9.83	10,000ℓ
	救助工作車		H19. 2	6.40	照明装置・クレーン付(Ⅱ型)
	はしご付消防自動車		H19. 12	8.86	38m級
	高規格救急自動車		H26. 2	2.69	
	高規格救急自動車		H29. 2	2.69	
	高規格救急自動車		H19. 2	2.69	非常用
	資機材搬送車		H15. 1	4.21	
	原因調査車		H29. 6	1.98	
東消防署	普通消防ポンプ自動車	A-2	H27. 3	4.00	
	化学消防ポンプ自動車	A-2	H27. 2	6.40	1,300ℓ・薬液(500ℓ)
	はしご付消防自動車		H21. 12	8.86	30m級
	高規格救急自動車		H30. 1	2.69	
	資機材搬送車		H 1. 8	1.81	
八千代台分署	普通消防ポンプ自動車	A-2	H30. 3	4.00	災害対応型(1,300ℓ付)
	水槽付消防ポンプ自動車	A-2	H13. 2	7.96	1,500ℓ
	高規格救急自動車		H24. 10	2.69	
睦分署	水槽付消防ポンプ自動車	A-2	H30. 3	5.12	1,500ℓ・災害対応型
	水槽付消防ポンプ自動車	A-2	H14. 2	7.69	非常用
	高規格救急自動車		H19. 11	2.69	
勝田台分署	普通消防ポンプ自動車	A-2	H21. 10	4.00	
	水槽付消防ポンプ自動車	A-2	H17. 3	6.40	1,500ℓ・災害対応型
	普通消防ポンプ自動車	A-2	H14. 2	4.57	非常用
	高規格救急自動車		H24. 2	2.69	

(3) 新設防火水槽

(平成30年度)

	設置場所	容量(m ³)	設置数	備考
1	吉橋1058-76	40	1	公設(移管)
2	大和田新田474 (かざみどり公園)	40	1	
3	上高野2040-1 (八千代物流センターⅢ)	40	1	私設(移管)
4	米本1697-1	40	1	
合計			4	

(4) 新設消火栓

(平成30年度)

	設置場所	単口	双口	設置数	備考
1	吉橋1078-1	100		1	公設
2	吉橋1078-9	150		1	
3	緑が丘西1-15-15	75		1	公設(移管)
4	緑が丘西1-5-2	100		1	
5	緑が丘西1-5-3	100		1	
6	緑が丘西5-19-1	150		1	
7	緑が丘西7-4-1	150		1	
8	緑が丘西7-13-1	150		1	
9	緑が丘西7-3-2	150		1	
10	緑が丘西5-6-4	300		1	
11	緑が丘西5-7-8	300		1	
12	上高野1162-3	75		1	
合計		12		12	

(5) 消防水利の保有数

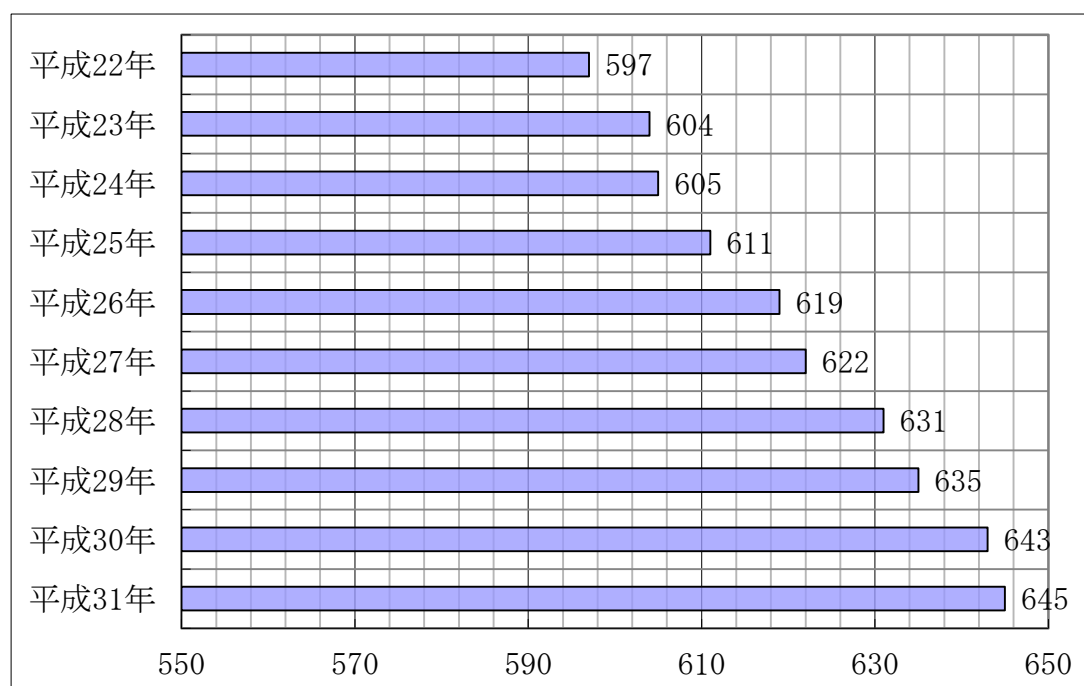
① 防火水槽

(平成31年4月1日現在)

容 量		計
40m ³ 以上	公 設	339
	私 設	201
40m ³ 未満	公 設	105
合 計		645

② 年別防火水槽保有数

(各年4月1日現在)



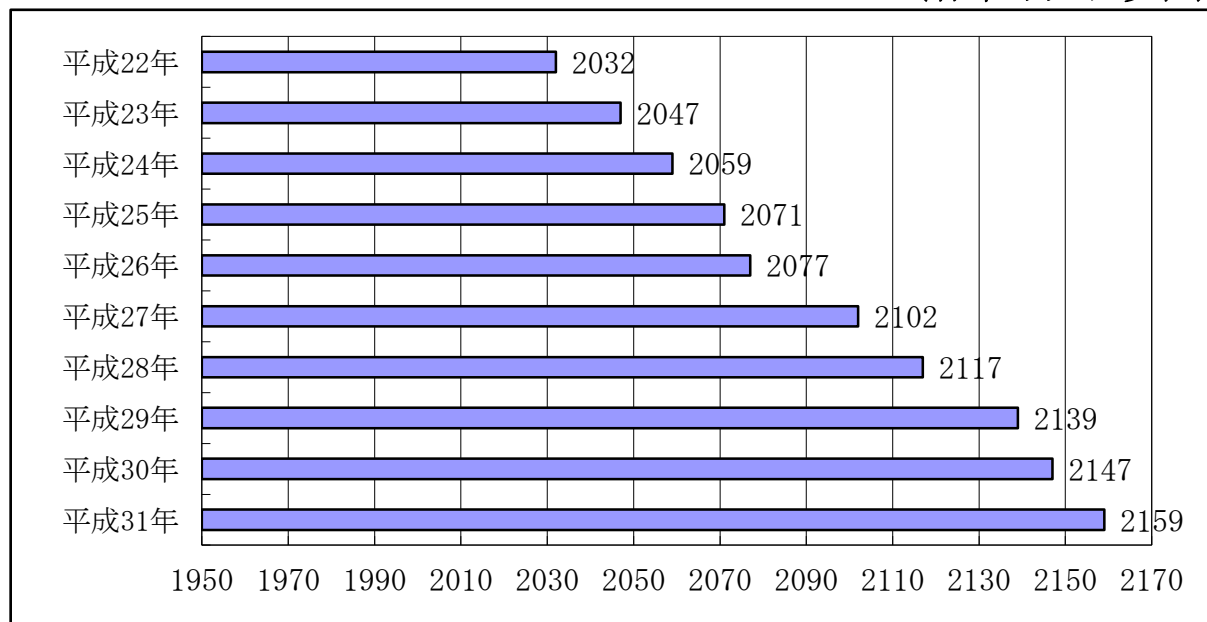
③ 消火栓

(平成31年4月1日現在)

	双口	単口	計
600mm		1	1
450mm		3	3
400mm	7	2	9
350mm	2	2	4
300mm	86	3	89
250mm	46	6	52
200mm	249	47	296
150mm		687	687
125mm			
100mm		576	576
75mm		442	442
合計	390	1,769	2,159

④ 年別消火栓保有数

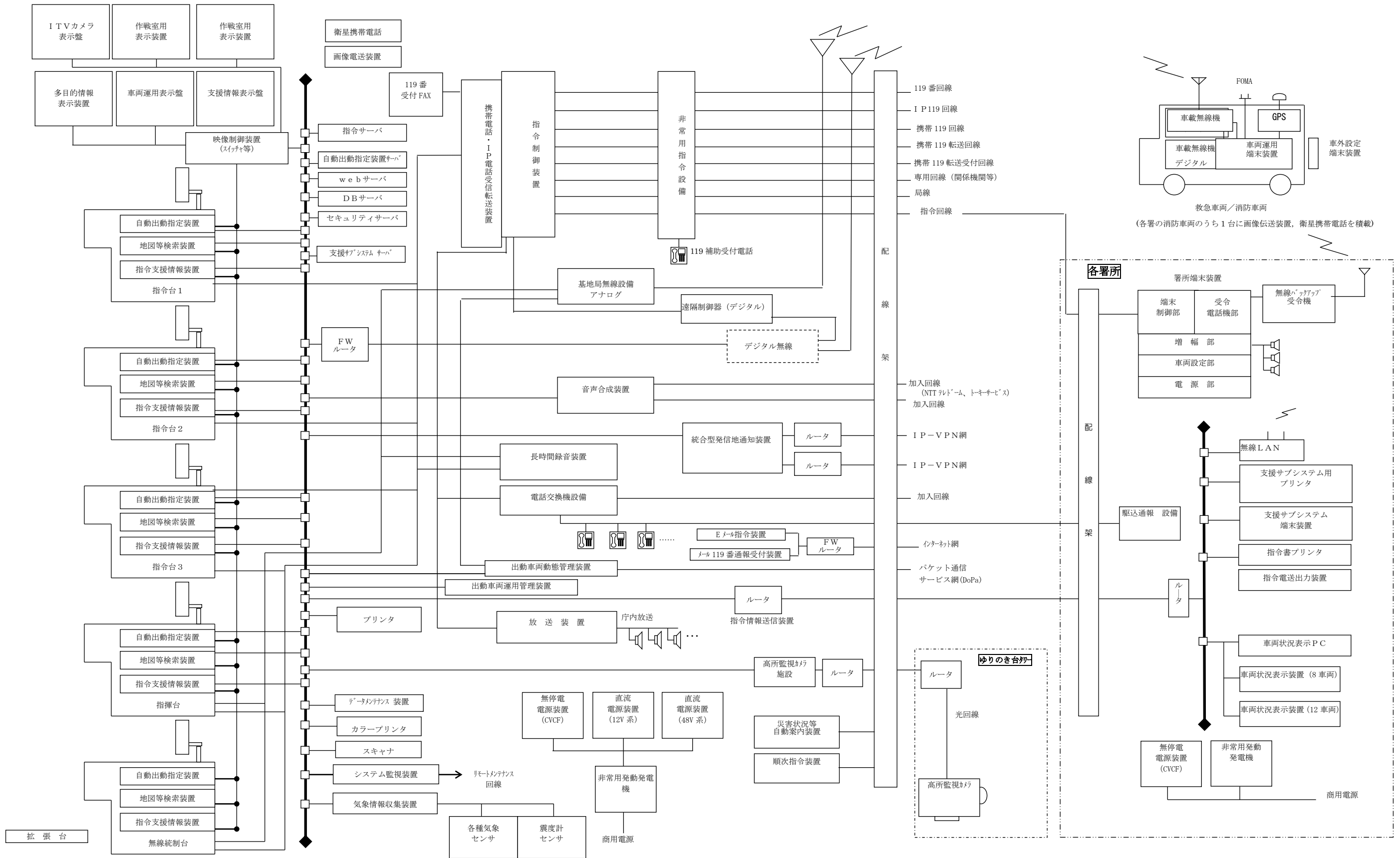
(各年4月1日現在)



IV 指令

1 消防通信

(1) 通信系統図



(2) 出場指令件数

(平成30年)

種別 月別	救 急	消 防 車 等 の 災 害 出 場						計
		火 災	救 助	警 戒	調 査	そ の 他	小 計	
1 月	820	5	21	2	8	69	105	925
2 月	678	5	14	3	3	74	99	777
3 月	644	5	14	1	9	51	80	724
4 月	632	7	19	1	5	57	89	721
5 月	639	2	17	0	12	52	83	722
6 月	633	5	8	2	6	45	66	699
7 月	834	2	13	0	16	48	79	913
8 月	795	4	15	0	5	43	67	862
9 月	687	2	20	1	6	34	63	750
10 月	714	2	22	2	55	56	137	851
11 月	670	4	13	0	7	57	81	751
12 月	744	3	12	1	7	71	94	838
合 計	8,490	46	188	13	139	657	1043	9,533

(3) 119番受理状況

(平成30年)

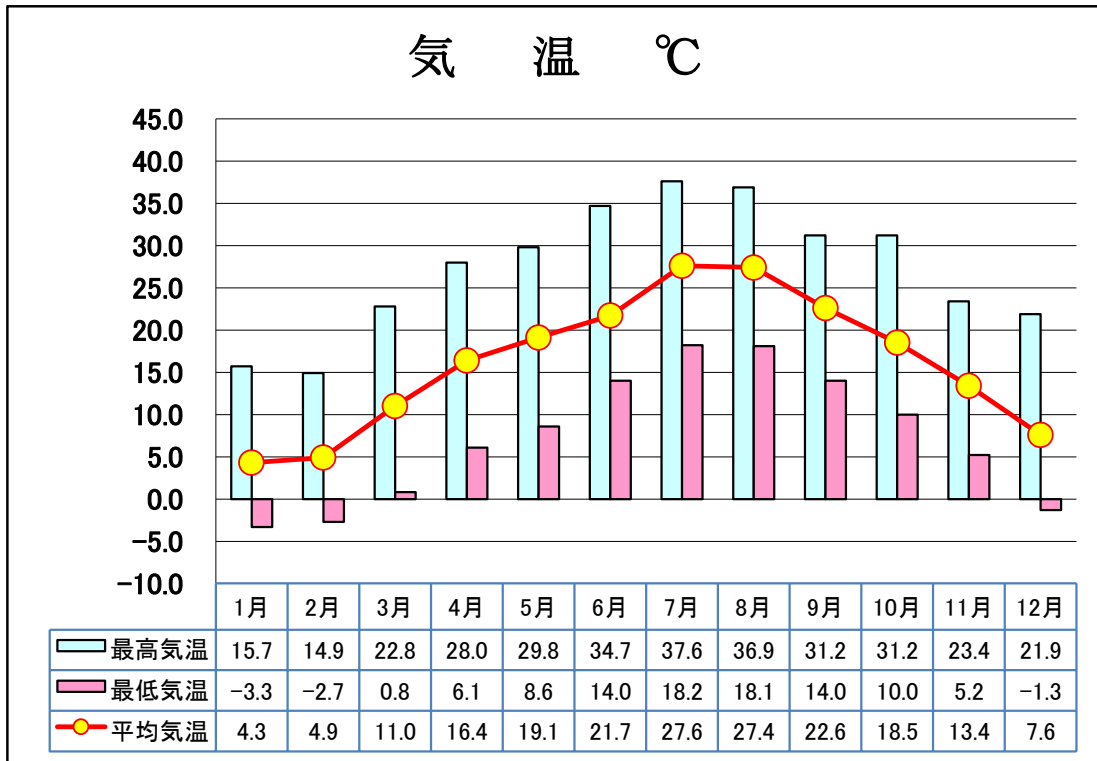
種別 月別	火 災	救 急	そ の 他 の 災 害	問 合 せ	試 験	いた ず ら	間 違 い	そ の 他	計
1 月	5	779	50	168	21	10	48	131	1,212
2 月	7	640	43	107	20	5	43	132	997
3 月	5	597	31	103	50	32	47	137	1,002
4 月	5	602	27	104	38	10	66	109	961
5 月	2	623	17	92	38	15	49	113	949
6 月	4	594	16	84	37	17	41	129	922
7 月	3	773	23	99	27	18	46	174	1,163
8 月	2	737	18	121	10	8	34	132	1,062
9 月	5	644	21	94	34	12	35	137	982
10 月	5	681	41	112	49	5	47	149	1,089
11 月	5	638	20	84	51	15	52	146	1,011
12 月	3	735	31	106	39	12	48	145	1,119
合 計	51	8,043	338	1,274	414	159	556	1,634	12,469

(4) 気象状況

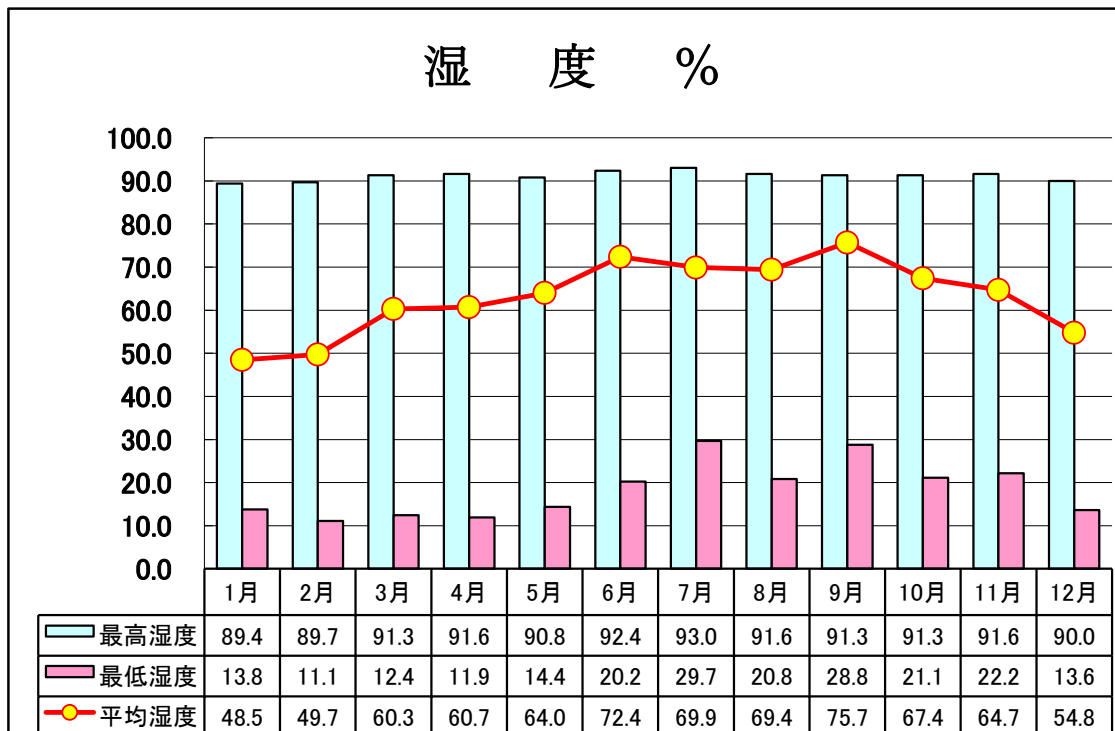
(平成30年)

種別 月別	天 気					湿 度 (%)			気 温 (℃)			風向	風 速 (m/s)					雨量 (mm)	降雪 (cm)
	快 晴	晴	曇	雨	雪	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 多 風 向	5 未 満	5 ~ 10 未 満	10 以 上	最 大 風 速	平 均	降 雨 量	降 雪 量
1 月	0	24	6	1	0	89.4	13.8	48.5	15.7	-3.3	4.3	北西	28	3	0	22.3	3.1	32.5	10.0
2 月	0	20	8	0	0	89.7	11.1	49.7	14.9	-2.7	4.9	北北西	28	0	0	18.3	3.0	8.0	0.5
3 月	0	19	5	7	0	91.3	12.4	60.3	22.8	0.8	11.0	南南西	25	6	0	22.4	3.7	175.5	0
4 月	0	19	9	2	0	91.6	11.9	60.7	28.0	6.1	16.4	南南西	25	5	0	30.0	4.1	64.0	0
5 月	0	18	10	3	0	90.8	14.4	64.0	29.8	8.6	19.1	南南西	21	10	0	21.3	4.0	163.0	0
6 月	0	19	7	4	0	92.4	20.2	72.4	34.7	14.0	21.7	南南西	24	6	0	28.0	3.8	133.5	0
7 月	0	25	4	2	0	93.0	29.7	69.9	37.6	18.2	27.6	南南西	21	10	0	24.8	4.4	144.0	0
8 月	0	23	6	2	0	91.6	20.8	69.4	36.9	18.1	27.4	南南西	22	9	0	23.7	4.4	43.0	0
9 月	0	11	12	7	0	91.3	28.8	75.7	31.2	14.0	22.6	北東	23	7	0	27.2	3.7	243.5	0
10 月	0	19	11	1	0	91.3	21.1	67.4	31.2	10.0	18.5	北北東	29	2	0	42.6	3.2	45.5	0
11 月	0	18	11	1	0	91.6	22.2	64.7	23.4	5.2	13.4	北北西	30	0	0	12.3	2.5	25.0	0
12 月	0	16	14	1	0	90.0	13.6	54.8	21.9	-1.3	7.6	北西	30	1	0	18.7	2.7	33.0	0
年 間	0	231	103	31	0	93.0	11.1	63.1	37.6	-3.3	16.2	南南西	306	59	0	42.6	3.6	1,110.5	10.5

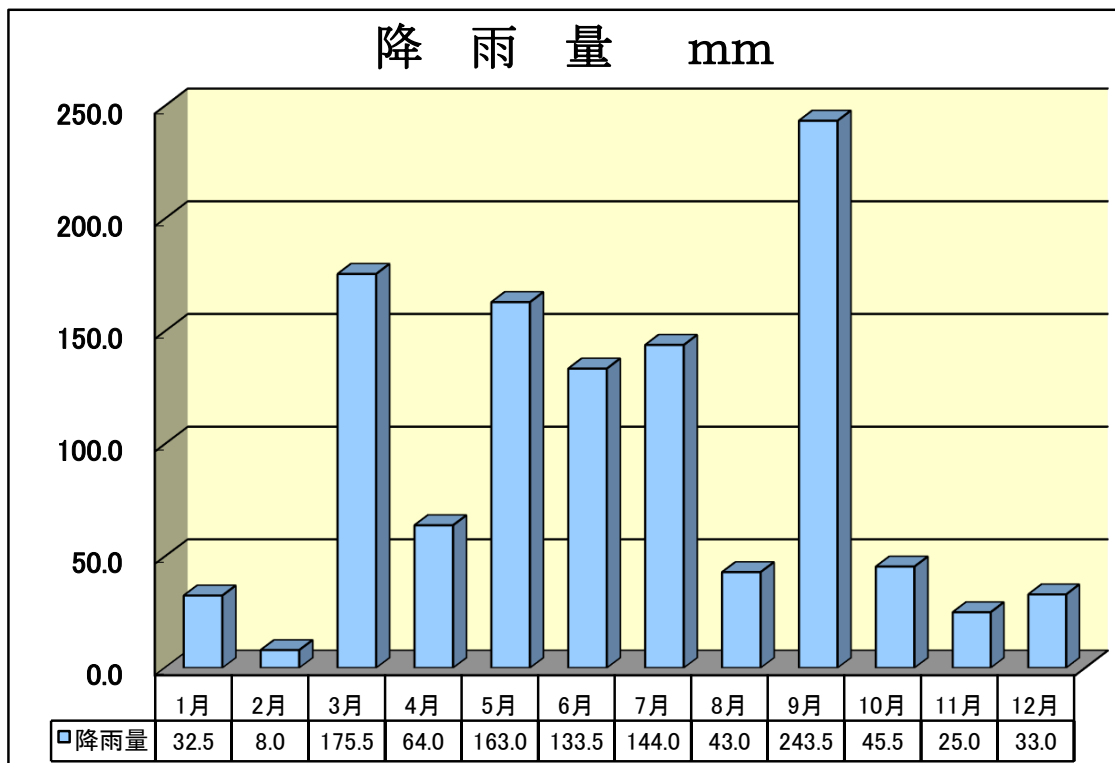
(平成30年)



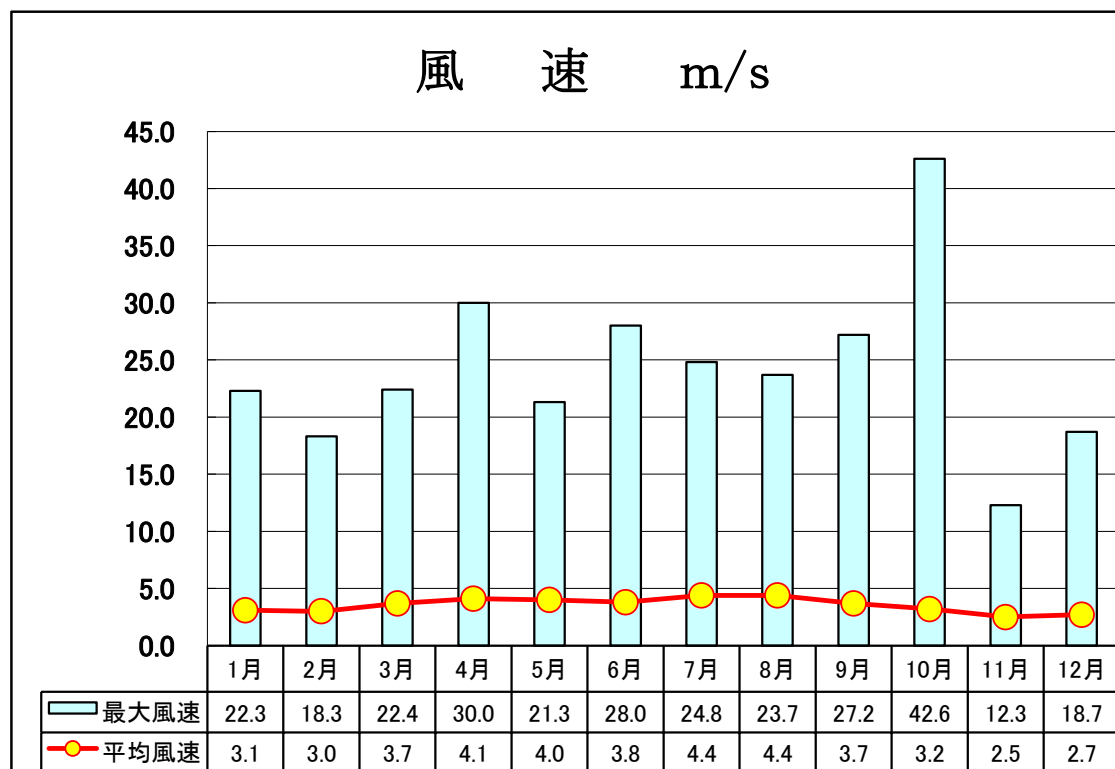
(平成30年)



(平成30年)



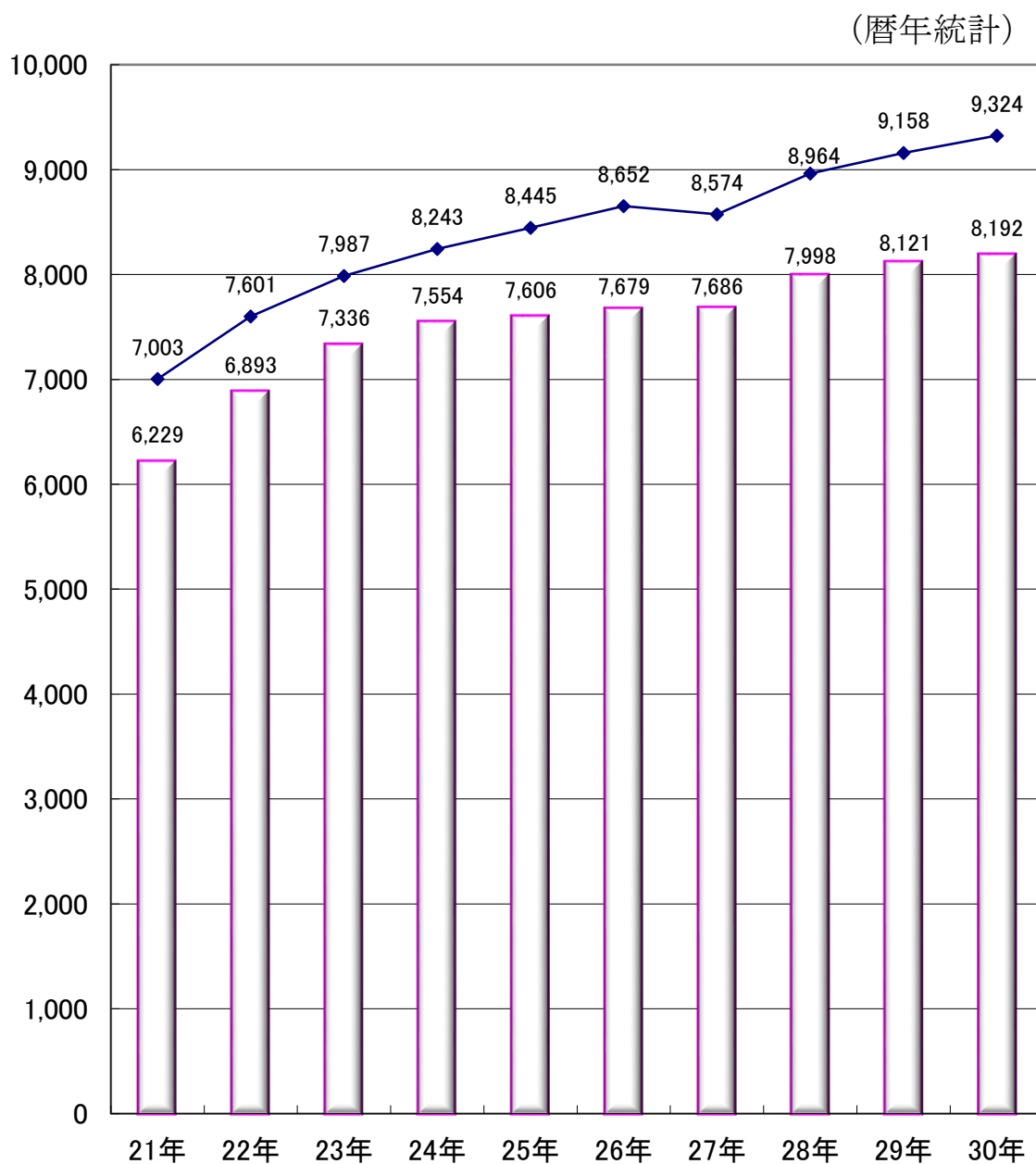
(平成30年)



V 救急・救助

(1) 年別活動状況表

下の棒グラフが搬送人員 上の折れ線が出動件数



(2) 年別救急活動状況

① 事故種別出動件数

(暦年統計)

年 別	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	
合 計	7,003	7,601	7,987	8,243	8,445	8,652	8,574	8,964	9,158	9,324	
事 故 種 別	火 災	37	23	32	30	39	29	41	23	24	23
	自然災害	2	5	4	2	1		1	7	4	5
	水 難	2	2			2	2	3		1	1
	交 通	680	668	683	738	717	703	636	636	653	635
	労働災害	66	70	81	69	75	66	64	47	73	90
	運動競技	31	46	43	21	42	46	45	45	52	39
	一 般	984	1,004	1,050	1,128	1,138	1,179	1,170	1,208	1,304	1,287
	加 害	89	85	59	67	71	51	63	64	55	47
	自損行為	132	134	128	80	80	96	81	84	80	81
	急 病	4,044	4,550	4,855	5,001	5,156	5,280	5,349	5,672	5,853	6,131
その他	936	1,014	1,052	1,107	1,124	1,200	1,121	1,178	1,059	985	

② 事故種別搬送人員

(暦年統計)

年 別	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	
合 計	6,229	6,893	7,336	7,554	7,606	7,679	7,686	7,998	8,121	8,192	
事 故 種 別	火 災	14	5	5	3	12	5	3	5	4	3
	自然災害		2	5	1			1	7	4	5
	水 難	1						2			0
	交 通	701	661	714	746	734	694	620	613	631	601
	労働災害	66	70	81	68	75	66	61	46	73	88
	運動競技	30	45	42	21	42	46	49	45	53	39
	一 般	903	934	959	1,049	1,017	1,038	1,045	1,100	1,179	1,139
	加 害	74	75	51	53	58	39	44	56	45	35
	自損行為	95	95	93	66	63	62	60	59	55	63
	急 病	3,602	4,125	4,465	4,623	4,687	4,756	4,850	5,110	5,217	5,444
その他	743	881	921	924	918	973	951	957	860	775	

③ 男女別搬送人員

(暦年統計)

	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
男	3,258	3,709	3,914	4,010	4,134	4,029	4,142	4,256	4,287	4,221
女	2,971	3,184	3,422	3,544	3,472	3,650	3,544	3,742	3,834	3,971
合計	6,229	6,893	7,336	7,554	7,606	7,679	7,686	7,998	8,121	8,192

(3) 事故種別時間別出動件数

(平成30年)

事故種別 時間別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
合計	23	5	1	635	90	39	1,287	47	81	6,131	985	9,324
0~2	1	0	0	26	3	0	52	6	3	364	22	477
2~4	6	0	0	12	3	0	38	3	3	299	18	382
4~6	0	0	0	14	1	0	36	3	3	277	23	357
6~8	1	0	0	53	2	0	72	4	8	469	15	624
8~10	3	0	0	82	15	7	155	2	5	722	108	1,099
10~12	1	1	0	73	21	5	152	2	9	631	208	1,103
12~14	1	1	0	63	10	8	159	4	7	654	154	1,061
14~16	2	1	1	88	9	12	158	0	6	596	124	997
16~18	1	1	0	74	13	3	135	2	10	542	153	934
18~20	3	0	0	72	6	2	116	5	12	588	62	866
20~22	2	1	0	43	4	2	128	11	9	541	53	794
22~24	2	0	0	35	3	0	86	5	6	448	45	630

(4) 事故種別時間別搬送人員

(平成30年)

時間別 \ 事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
合計	3	5	0	601	88	39	1,139	35	63	5,444	775	8,192
0～2	0	0	0	25	3	0	37	5	3	316	9	398
2～4	0	0	0	11	3	0	34	2	3	252	9	314
4～6	0	0	0	11	1	0	32	2	3	231	10	290
6～8	0	0	0	49	2	0	64	3	7	417	5	547
8～10	0	0	0	81	14	7	144	2	5	670	88	1,011
10～12	0	1	0	77	21	5	140	1	8	565	193	1,011
12～14	0	1	0	59	10	8	140	2	3	589	137	949
14～16	1	1	0	83	9	12	141	0	2	538	108	895
16～18	0	1	0	63	13	3	126	0	9	489	125	829
18～20	0	0	0	66	6	2	99	4	8	515	43	743
20～22	0	1	0	44	4	2	106	8	6	467	30	668
22～24	2	0	0	32	2	0	76	6	6	395	18	537

(5) 事故種別年齢区分別搬送人員

(平成30年)

事故種別 年齢区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他	合 計
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	54	59
乳幼児	0	0	0	21	0	0	92	0	0	252	40	405
少年	0	0	0	82	2	31	45	2	1	153	14	330
成人	2	1	0	361	64	7	218	28	52	1,678	215	2,626
高齢者	1	4	0	137	22	1	784	5	10	3,356	452	4,772
合計	3	5	0	601	88	39	1,139	35	63	5,444	775	8,192

(注) 年齢区分は、次による。

新生児 生後28日未満の者

乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者

少年 満7歳以上満18歳未満の者

成人 満18歳以上満65歳未満の者

高齢者 満65歳以上の者

(6) 事故種別傷病程度別搬送人員

(平成30年)

事故種別 傷病程度	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他	合 計
死亡	0	0	0	5	0	0	4	0	11	75	1	96
重症	1	1	0	23	1	0	28	0	9	448	132	643
中等症	1	1	0	123	41	11	398	9	26	2,270	556	3,436
軽症	1	3	0	450	46	28	709	26	17	2,651	86	4,017
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	5	0	601	88	39	1,139	35	63	5,444	775	8,192

(注) 1 傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき、次の5種類に分類した。

(1) 死亡とは、初診時において死亡が確認されたもの。

(2) 重症とは、傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの以上のもの。

(3) 中等症とは、傷病程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。

(4) 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないもの。

(5) その他とは、傷病程度が判明しないもの及びその他に搬送したもの。

2 搬送人員は、医師の診断を受け傷病程度の判明した人員である。

(7) 年齢区分別傷病程度別搬送人員

(平成30年)

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡	0	1	0	23	72	96
重症	4	14	9	158	458	643
中等症	48	128	103	927	2,230	3,436
軽症	7	262	218	1,518	2,012	4,017
その他	0	0	0	0	0	0
合計	59	405	330	2,626	4,772	8,192

(8) 事故種別不搬送理由別件数

(平成30年)

事故種別 不搬送理由	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
緊急性なし	0	0	0	7	0	0	15	0	0	59	8	89
傷病者なし	10	0	0	1	0	0	0	1	0	2	9	23
拒否	4	0	0	59	1	0	126	12	5	497	26	730
酔酩	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	68	74
死亡	1	0	1	1	0	0	1	0	14	105	12	135
現場処置	0	0	0	2	0	0	3	0	0	1	0	6
誤報・いたずら	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	65	71
その他	0	0	0	5	1	0	5	1	0	22	23	57
合計	20	0	1	75	2	0	151	14	19	692	211	1,185

(9) 現場到着所要時間別出動件数

(平成30年)

種別	時間					合計	平均所要時間(分)
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
急病	20	108	3,541	2,440	22	6,131	9分8秒
交通	4	6	366	257	2	635	9分19秒
一般	2	23	723	535	4	1,287	9分11秒
その他	11	54	751	444	11	1,271	8分53秒
合計	37	191	5,381	3,676	39	9,324	9分7秒

(注)所要時間は、入電から現場到着までに要した時間をいう。

(10) 収容所要時間別搬送人員

(平成30年)

種別	時間						合計	平均所要時間(分)
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上		
急病	0	19	716	4,128	564	17	5,444	42分40秒
交通	0	0	84	467	48	2	601	41分38秒
一般	0	2	148	806	175	8	1,139	45分20秒
その他	0	9	219	657	120	3	1,008	40分49秒
合計	0	30	1,167	6,058	907	30	8,192	42分44秒

(注)所要時間は、入電から収容医療機関の医師に傷病者を引き継ぐまでに要した時間をいう。

(11) 医療機関等へ収容するまでの間に救急隊員が行った応急処置数

(平成30年)

事故種別 応急処置	急 病	交 通	一 般	そ の 他	合 計
対 象 人 員	5,444	601	1,139	1,008	8,192
止 血	33	9	53	14	109
被 覆	18	139	327	69	553
固 定	15	262	109	55	441
保 温	114	12	23	41	190
酸 素 吸 入	1,084	62	55	240	1,441
人 工 呼 吸	15	0	1	2	18
胸 骨 圧 迫	0	0	0	0	0
心 肺 蘇 生	134	7	9	15	165
在 宅 療 法 継 続	12	0	0	0	12
ショックパンツによる血圧保持	0	0	0	0	0
血 圧 測 定	5,281	590	1,104	932	7,907
心音・呼吸音聴取	3,599	384	581	534	5,098
血中酸素飽和度測定	5,317	591	1,120	976	8,004
心 電 図 測 定	4,646	335	692	726	6,399
気 道 確 保	193	8	14	20	235
うち経鼻エアウェイ	0	0	0	1	1
うち異物除去	0	0	1	0	1
うちラリングアルマスク等	42	0	2	4	48
うち気管挿管	0	0	0	0	0
除 細 動	21	0	1	0	22
静 脈 路 確 保	70	5	1	7	83
うち心肺機能停止前	35	4	0	1	40
うち心肺機能停止後	35	1	1	6	43
薬 剤 投 与	25	1	1	1	28
血 糖 測 定	49	0	2	0	51
ブドウ糖投与	18	0	0	0	18
エピペン投与	0	0	0	0	0
その他の処置	109	0	7	16	132
合 計	20,753	2,405	4,100	3,648	30,906

(12) 不搬送件数のうち救急隊員が行った現場応急処置数

(平成30年)

事故種別 応急処置	急 病	交 通	一 般	そ の 他	合 計
対 象 人 員	692	90	152	267	1,201
止 血	6	0	3	0	9
被 覆	0	7	32	3	42
固 定	0	3	0	0	3
保 温	2	0	0	0	2
酸 素 吸 入	3	1	0	0	4
人 工 呼 吸	0	0	0	0	0
胸 骨 圧 迫	0	0	0	0	0
心 肺 蘇 生	2	0	0	0	2
在 宅 療 法 継 続	0	0	0	0	0
ショックパンツによる血圧保持	0	0	0	0	0
血 圧 測 定	505	56	112	85	758
心音・呼吸音聴取	284	32	52	43	411
血中酸素飽和度測定	512	57	116	91	776
心 電 図 測 定	273	14	45	37	369
気 道 確 保	2	0	0	0	2
うち経鼻エアウェイ	0	0	0	0	0
うち異物除去	0	0	0	0	0
うちラリングアルマスク等	0	0	0	0	0
うち気管挿管	0	0	0	0	0
除 細 動	0	0	0	0	0
静 脈 路 確 保	0	0	0	0	0
うち心肺機能停止前	0	0	0	0	0
うち心肺機能停止後	0	0	0	0	0
薬 剤 投 与	0	0	0	0	0
血 糖 測 定	0	0	0	0	0
ブドウ糖投与	0	0	0	0	0
エピペン投与	0	0	0	0	0
その他の処置	1	0	0	0	1
合 計	1,590	170	360	259	2,379

(13) 曜日別月別出動件数

(平成30年)

事故種別 区分		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般	加害	自損行為	急病	その他	合計
		曜 日 別	月	1	0	0	97	16	1	170	7	8	938
	火	3	0	0	85	13	1	185	5	12	892	154	1,350
	水	2	1	0	88	15	2	180	5	19	864	163	1,339
	木	3	1	0	86	16	4	167	4	14	856	149	1,300
	金	5	2	0	89	12	5	185	5	11	804	166	1,284
	土	6	0	1	103	11	10	204	9	11	855	128	1,338
	日	3	1	0	87	7	16	196	12	6	922	77	1,327
合 計		23	5	1	635	90	39	1,287	47	81	6,131	985	9,324
月 別	1月	4	0	0	56	7	2	121	4	6	613	92	905
	2月	3	0	0	46	6	3	92	4	8	517	86	765
	3月	4	0	0	54	1	1	112	6	6	441	84	709
	4月	3	3	1	57	11	3	105	2	6	457	59	707
	5月	0	1	0	46	9	6	96	2	11	467	69	707
	6月	2	0	0	45	4	5	102	6	5	450	68	687
	7月	0	0	0	54	10	6	99	3	4	628	86	890
	8月	2	1	0	51	14	4	103	3	6	588	80	852
	9月	1	0	0	60	10	0	111	6	8	469	76	741
	10月	0	0	0	62	6	1	108	5	12	488	107	789
	11月	3	0	0	48	4	6	110	4	6	475	86	742
	12月	1	0	0	56	8	2	128	2	3	538	92	830

(14) 曜日別月別搬送人員

(平成30年)

事故種別 区分		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災害	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
曜 日 別	月	0	0	0	84	15	1	155	7	7	826	127	1,222
	火	0	0	0	79	13	1	169	3	10	798	127	1,200
	水	0	1	0	86	14	2	157	3	16	766	129	1,174
	木	0	1	0	82	16	4	144	2	7	765	123	1,144
	金	1	2	0	85	12	5	166	6	8	716	130	1,131
	土	2	0	0	101	11	10	176	6	9	757	97	1,169
	日	0	1	0	84	7	16	172	8	6	816	42	1,152
合 計		3	5	0	601	88	39	1,139	35	63	5,444	775	8,192
月 別	1月	1	0	0	51	7	2	111	2	5	524	75	778
	2月	1	0	0	41	5	3	77	3	6	448	67	651
	3月	0	0	0	52	1	1	100	3	3	375	73	608
	4月	1	3	0	50	11	3	96	1	5	418	47	635
	5月	0	1	0	43	9	6	86	2	10	430	53	640
	6月	0	0	0	39	4	5	88	6	4	403	54	603
	7月	0	0	0	51	9	6	92	3	4	563	68	796
	8月	0	1	0	50	14	4	92	1	5	532	56	755
	9月	0	0	0	62	10	0	93	6	7	416	56	650
	10月	0	0	0	68	6	1	100	4	8	431	84	702
	11月	0	0	0	44	4	6	97	3	5	427	71	657
	12月	0	0	0	50	8	2	107	1	1	477	71	717

(15) 発生場所別搬送人員

(平成30年)

発生場所 事故種別	住 宅	公衆出入 場所	仕事場	道 路	その他	合 計
急 病	4,191	914	137	182	20	5,444
交 通	11	26	0	564	0	601
一 般	674	262	13	174	16	1,139
その他	70	832	75	24	7	1,008
合 計	4,946	2,034	225	944	43	8,192

(注) 発生場所は、事故等の発生した場所又は傷病者がいた場所に基づき、

次により分類した。

- ・住宅とは、一般住宅及び高層住宅等に住居としている場所をいう。
- ・公衆出入場所とは、多数の人が集まる場所をいう。
- ・仕事場とは、工場、作業場、各種事業所等の仕事をしている場所をいう。
- ・道路とは、一般道路、高速道路、交差点、歩道及び歩道橋等をいう。

(16) 応急手当普及啓発活動実施状況

(年度統計)

		年度別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
普通救命講習 (成人)	回数		38	72	57	56	58
	受講者数		464	1,023	805	658	745
普通救命講習 (小児・乳児)	回数		16	20	21	19	21
	受講者数		170	225	228	231	237
上級救命講習	回数		3	3	3	3	3
	受講者数		40	40	41	40	48
救命入門 コース	回数		39	43	47	46	62
	受講者数		2,410	2,982	3,086	3,924	4,617
実技救命講習	回数						1
	受講者数						5
分割講習	回数				2		2
	受講者数				22		16
応急手当 普及員講習	回数		1				1
	受講者数		2				4
合計	回数		97	138	130	124	148
	受講者数		3,086	4,270	4,182	4,853	5,672

2 救助統計

(1) 救助出動件数及び活動状況

(暦年統計)

事故種別		火	交	水	風	機	建	ガ	破	そ	合
		災	通	難	水	械	物	ス	裂	の	計
年別・区分		火	交	水	風	機	建	ガ	破	そ	合
平成26年	出動件数	5	30	4		3	32			22	96
	活動件数	5	23	3		2	28			1	62
	救助人員	1	27	3		2	26			1	60
平成27年	出動件数	3	18	3		3	32			21	80
	活動件数	3	8	2		1	25			4	43
	救助人員	1	9	2		1	20			4	37
平成28年	出動件数		14	1		3	31			55	104
	活動件数		3				31			6	40
	救助人員		4				20			6	30
平成29年	出動件数	1	14	1		1	51			76	144
	活動件数	1	4	1			50			11	67
	救助人員		6	1			37			11	55
平成30年	出動件数	2	26	1		4	61			96	190
	活動件数	2	12	1		3	61			7	86
	救助人員	1	13	1		3	43			6	67

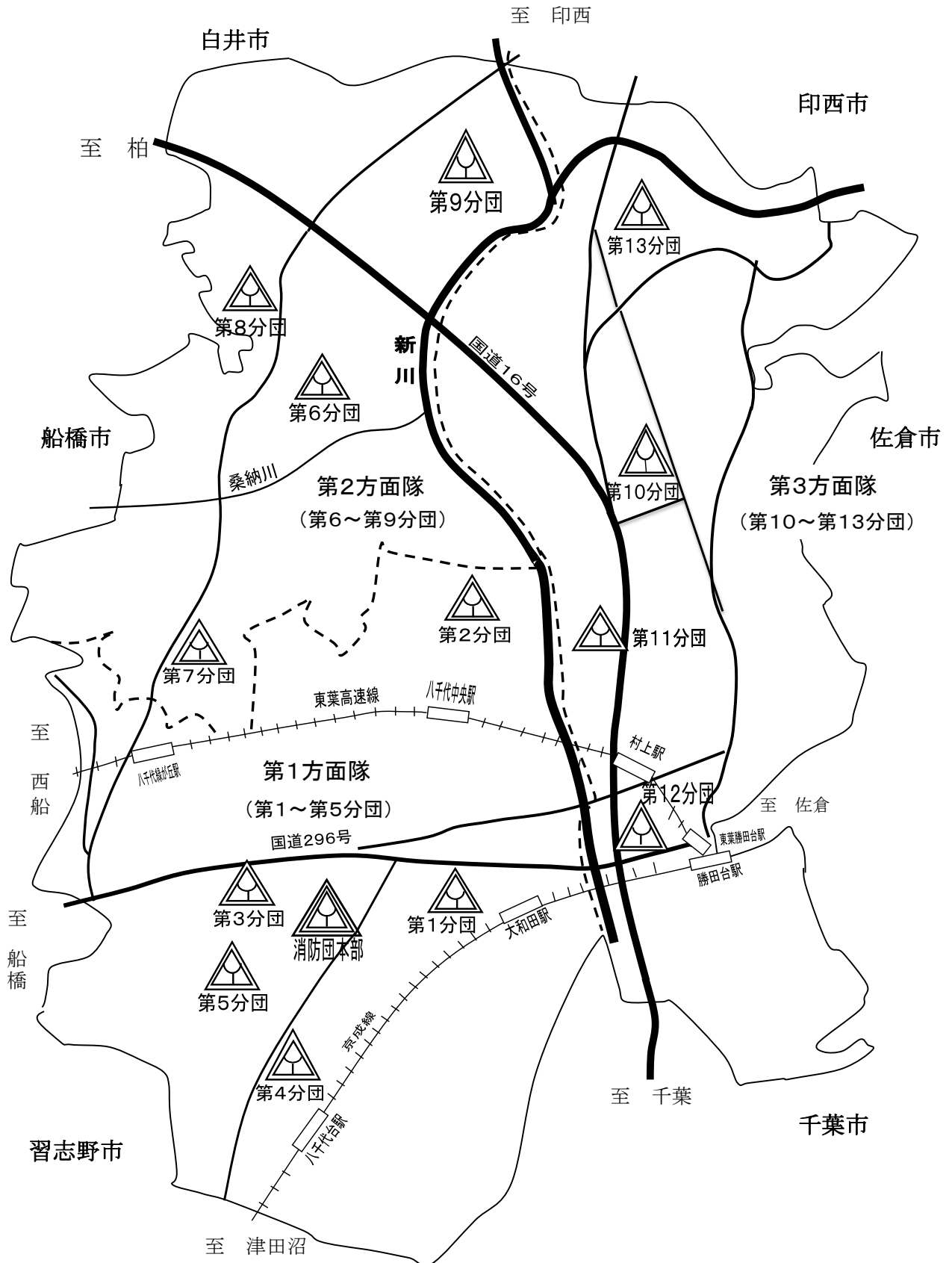
(注)その他の事故には、誤報・いたづら等を含む。

VI消防団

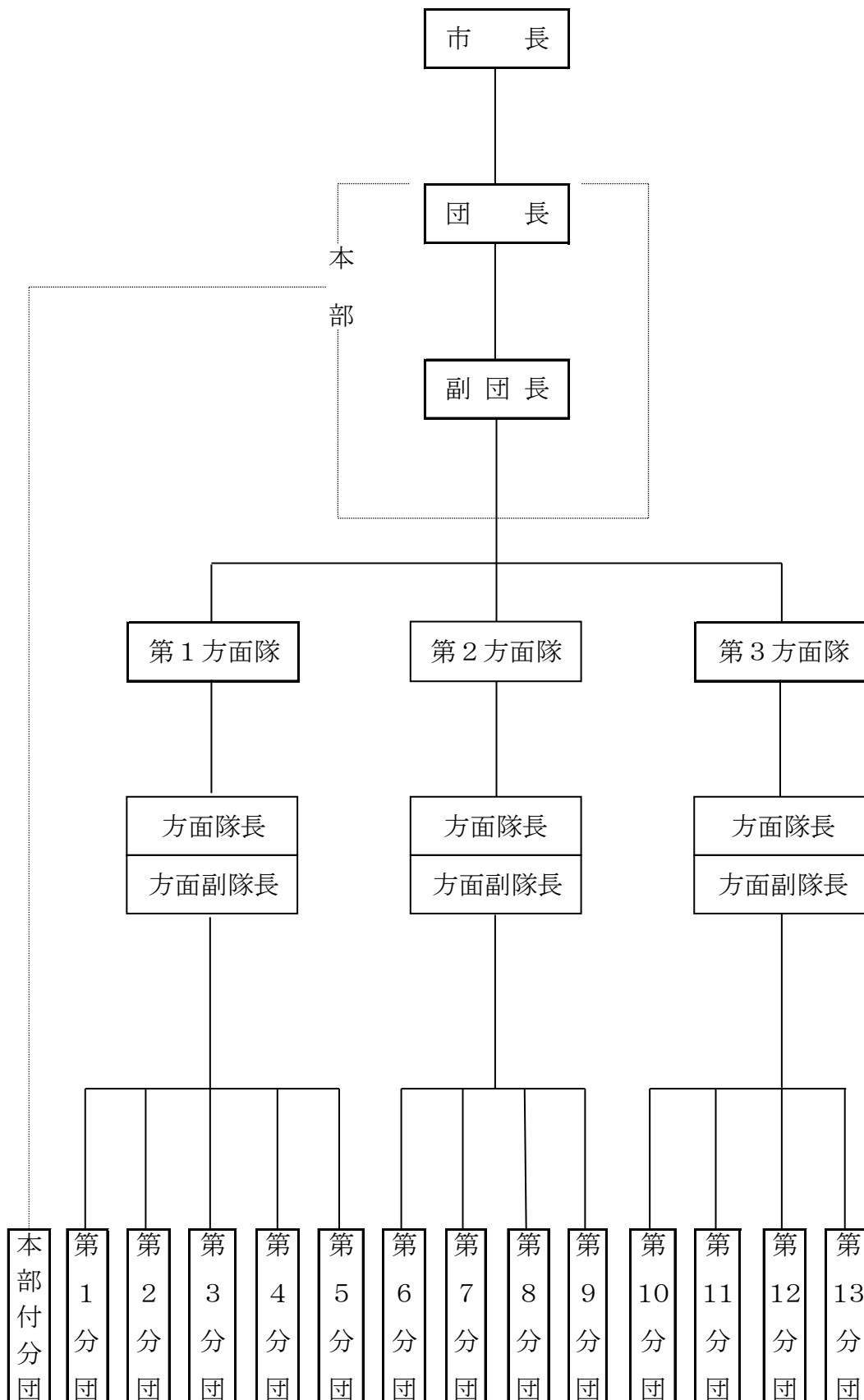
1 消防団概要

(1) 消防団配置図

(平成31年4月1日現在)



(2) 消防団組織



(3) 区域別消防団員数及び施設設備配置表

(平成31年4月1日現在)

分 団 名	本 部	第1方面隊					第2方面隊					第3方面隊					計		
		方面隊	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	方面隊	第6分団	第7分団	第8分団	第9分団	方面隊	第10分団	第11分団	第12分団		第13分団	
区 域 名	八千代市全域	第1分団から第5分団までの区域	大和田・萱田町及び村上の一部	ゆりのき台・萱田及び萱田町の一部	大和田新田・緑が丘及び萱田町の一部	八千代台東・八千代台南・八千代台北及び八千代台西	高津・高津東及び八千代台北の一部	第6分団から第9分団までの区域	桑納・麦丸・島田及び大和田新田の一部	吉橋・尾崎及び緑が丘西	桑橋・島田台・小池・真木野・神久保及び大学町	平戸・佐山及び大学町の一部	第10分団から第13分団までの区域	米本・上高野及び下高野	村上及び村上南の一部	上高野の一部及び村上の一部	下市場・勝田台北・勝田台・勝田台南・村上南・勝田	保品・神野・堀の内及び米本の一部	
定 員	30	2	21	21	21	21	21	2	21	21	21	21	2	21	21	21	21	21	309
内 訳	30	2	17	15	19	18	21	2	19	21	18	20	2	21	21	21	19		286
団 長	1																		1
副 団 長	副 団 長	3																	3
	方面隊長		1					1					1						3
分 団 長	方面副隊長		1					1					1						3
	分 団 長	1		1	1	1	1	1		1	1	1	1		1	1	1	1	14
部 長	1		1	1	1	1	1		1	1	1	1		1	1	1	1		14
班 長	2		2	2	2	2	2		2	2	2	2		2	2	2	2		28
団 員	22		13	11	15	14	17		15	17	14	16		17	17	17	15		220
設 備	ポンプ自動車		1	1	1	1				1	1	1		1	1	1	1		11
	小型動力ポンプ付積載車						1		1										2

(4) 年齢別消防団員数

(平成31年4月1日現在)

階級等 年齢別	団長	副団長		分団長		部長	班長	団員	計
		副団長	方面隊長	方面副隊長	分団長				
18歳									0
19歳									0
20歳								2	2
21歳									0
22歳								1	1
23歳								1	1
24歳								3	3
25歳								2	2
26歳								1	1
27歳							1	4	5
28歳								6	6
29歳							1	3	4
30歳								3	3
31歳							1	10	11
32歳					1			5	6
33歳								3	3
34歳								8	8
35歳					1		2	5	8
36歳							2	9	11
37歳					1		2	8	11
38歳						1	7	6	14
39歳						2		13	15
40歳					1	1	1	10	13
41歳					1	1	3	3	8
42歳					1	2		13	16
43歳					3	1	1	10	15
44歳					1	2		8	11
45歳					2	1	3	11	17
46歳						1		11	12
47歳			1			1		6	8
48歳		1			1			13	15
49歳					1			6	7
50歳								10	10
51歳							1	6	7
52歳					1		1	4	6
53歳					1		2	3	6
54歳			1					2	3
55歳								1	1
56歳								1	1
57歳								2	2
58歳	1	2	1			1		2	7
59歳								2	2
60歳									0
61歳								1	1
62歳									0
63歳									0
64歳								1	1
65歳									0
66歳									0
67歳									0
68歳					1				1
69歳									0
70歳以上								1	1
合計	1	3	3	3	14	14	28	220	286

※平均年齢は42.5歳

(5) 在職年数別消防団員数

(平成31年4月1日現在)

階級 区分	団長	副団長	分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満			1	1	6	77(11)	85(11)
5年以上10年未満			3	5	13	38(5)	59(5)
10年以上15年未満			8	4	4	55(5)	71(5)
15年以上20年未満		3	3(1)	3(1)	3(2)	31(1)	43(5)
20年以上25年未満		1	1	1	2	13	18
25年以上30年未満	1	1				4	6
30年以上35年未満		1	1			1	3
35年以上40年未満							
40年以上						1	1
合計	1	6	17(1)	14(1)	28(2)	220(22)	286(26)

※()内数字は女性団員数

(6) 消防団員の報酬等

(平成31年4月1日現在)

階級 区分	団長	副団長	分団長	部長	班長	団員
報酬 (年額)	136,000円	100,000円	75,000円	46,000円	32,000円	28,000円
費用弁償	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出動 ・ 警戒 ・ 訓練 } 各1回につき2,000円					

(7) 分団別消防自動車等の配置状況

(平成31年4月1日現在)

所 属	車 種	ポンプ 級 別	購入年月	排気量 (L)	備 考
第1方面隊					
第1分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H27. 1	4.00	無線機付
第2分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H20. 1	4.00	無線機付
第3分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H21. 2	4.00	無線機付
第4分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H20. 1	4.00	無線機付
第5分団	小型動力ポンプ付積載車	B-3	H 6. 9	1.99	無線機付
第2方面隊					
第6分団	小型動力ポンプ付積載車	B-3	H 7.10	1.99	無線機付
第7分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H19. 3	4.00	無線機付
第8分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H16.11	4.00	無線機付
第9分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H30. 2	4.00	無線機付
第3方面隊					
第10分団	消防ポンプ自動車 (BD-I)	A-2	H 9. 3	4.16	無線機付
第11分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H30. 2	4.00	無線機付
第12分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H21. 2	4.00	無線機付
第13分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H27. 1	4.00	無線機付

(8) 分団別水利状況

(平成31年4月1日現在)

所 属	管 轄 区 域	防 火 水 槽					消火栓	計
		公 設			私設	小計		
		20m ³ 未満	20m ³ ～ 40m ³	40m ³ 以上				
第1方面隊								
第1分団	大和田，萱田町及び村上の一部	3		24	6	33	161	194
第2分団	ゆりのき台，萱田及び萱田町の一部	1		17	11	29	128	157
第3分団	大和田新田，緑が丘及び萱田町の一部	5		79	63	147	418	565
第4分団	八千代台東，八千代台南，八千代台北 及び八千代台西	3	1	27	14	45	271	316
第5分団	高津，高津東及び八千代台北の一部	6		22	10	38	195	233
第2方面隊								
第6分団	桑納，麦丸，島田及び大和田新田の一部	9		9	2	20	51	71
第7分団	吉橋，尾崎及び緑が丘西	8		26	19	53	127	180
第8分団	桑橋，島田台，小池，真木野，神久保 及び大学町	12	1	16	12	41	72	113
第9分団	平戸，佐山及び大学町の一部	9		11		20	27	47
第3方面隊								
第10分団	米本，上高野及び下高野	18	1	21	15	55	161	216
第11分団	村上及び村上南の一部	9		14	17	40	117	157
第12分団	下市場，勝田台北，勝田台，勝田台南， 村上南，勝田，上高野の一部及び 村上の一部	8		56	29	93	368	461
第13分団	保品，神野，堀の内及び米本の一部	11		17	3	31	63	94
合 計		102	3	339	201	645	2,159	2,804

(9) 分団別施設状況

(平成31年4月1日現在)

所 属	所 在 地	構 造	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築年月日
第1方面隊					
第1分団	大和田793	鉄骨造2階建	30.00	51.68	S60. 3.31
第2分団	萱田1104-1	鉄骨造2階建	34.30	54.64	H 4. 3.25
第3分団	大和田新田154-1	鉄骨造2階建	31.82	53.40	S59. 3.31
第4分団	八千代台北1-12-1	鉄筋コンクリート	332.50	140.00	S47. 10.27
第5分団	高津298-1	鉄骨造2階建	36.05	54.27	H 5. 3.20
第2方面隊					
第6分団	桑納203-1	鉄骨造2階建	39.17	63.03	H 8. 3.21
第7分団	吉橋1196-1	軽量鉄骨造2階建	29.19	49.48	S57. 3.25
第8分団	島田台1052	鉄骨造2階建	36.05	54.27	H 6. 1.31
第9分団	平戸263-2	鉄骨造2階建	30.77	50.24	S59. 3.31
第3方面隊					
第10分団	米本2716-3	鉄骨造2階建	32.18	51.68	S62. 12.11
第11分団	村上432	軽量鉄骨造2階建	29.19	49.46	S57. 3.25
第12分団	勝田台北2-176	鉄骨造2階建	32.18	51.59	S61. 6.25
第13分団	神野744-1	鉄骨造2階建	39.17	63.03	H 7. 3.20

(10) 消防団活動状況

消防団の主な業務

火災，風水害，地震，がけ崩れなどへの対応のほか，災害時の人命救助，避難誘導などの活動をしています。日常の活動としては火災予防，応急手当の普及・啓発，警戒警備，教育訓練，機械や器具の点検などを実施しています。

また，本部付けの女性消防団員は応急手当講習会，住宅用火災警報器の普及・啓発，消防団のPRなどを実施しています。

① 出動回数

(年度統計)

年度 区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
火災	10	19	25	23	28
警戒	16(3)	12(3)	14(3)	16(3)	12(3)
訓練	255(37)	225(38)	231(47)	244(55)	280(58)
合計	281(40)	256(41)	270(50)	283(58)	320(61)

※火災出動回数は各分団の出動回数を計上

※()内数字は女性団員

② 出動人員

(年度統計)

年度 区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
火災	59	133	232	102	198
警戒	718(7)	405(15)	410(10)	478(14)	411(8)
訓練	1,308(140)	1,232(111)	1,286(133)	1,324(152)	1,568(165)
合計	2,085(147)	1,770(126)	1,928(143)	1,904(166)	2,177(173)

※()内数字は女性団員

(11) 歴代消防団長

(平成31年4月1日現在)

	氏 名	在 職 期 間
初 代	大 澤 石 松	昭和29年1月15日 ~ 昭和55年1月 4日
2	加 藤 公 愛	昭和55年2月21日 ~ 昭和56年6月19日
3	大 澤 作 太 郎	昭和56年7月 1日 ~ 昭和61年3月31日
4	中 嶋 久 雄	昭和61年4月 1日 ~ 平成 5年3月31日
5	村 山 武 夫	平成 5年4月 1日 ~ 平成11年3月31日
6	大 木 健 治 郎	平成11年4月 1日 ~ 平成13年3月31日
7	清 宮 詢	平成13年4月 1日 ~ 平成17年3月31日
8	植 草 一 夫	平成17年4月 1日 ~ 平成19年3月31日
9	太 田 洋	平成19年4月 1日 ~ 平成23年3月31日
10	大 澤 英 明	平成23年4月 1日 ~ 平成25年3月31日
11	安 原 健 吉	平成25年4月 1日 ~ 平成28年3月31日
12	鈴 木 茂	平成28年4月 1日 ~ 平成29年3月31日
13	高 橋 章 夫	平成29年4月 1日 ~ 現在

発行 八千代市消防本部消防総務課

平成31年4月

〒276-0046

千葉県八千代市大和田新田186番地

電話 047-459-2441

FAX 047-459-6232

八千代市ホームページ

<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/>